

第3部 健康に関するアンケート調査結果  
(外国人区民)

# 1 回答者自身について

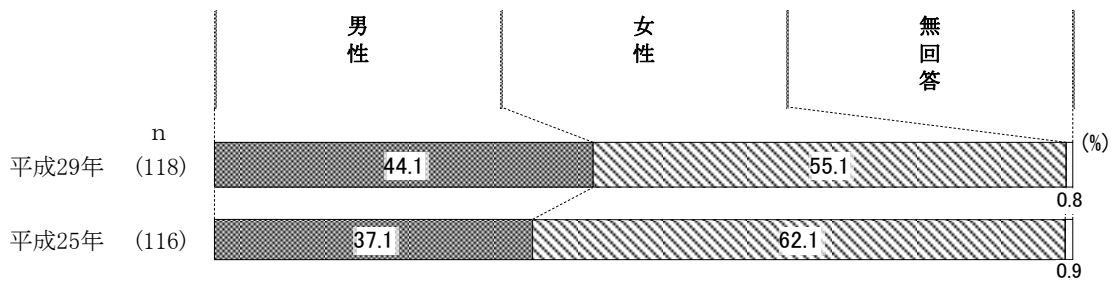
## (1) 性別

問1 あなたの性別に○をつけてください。

回答者の性別は、「男性」が44.1%、「女性」が55.1%である。

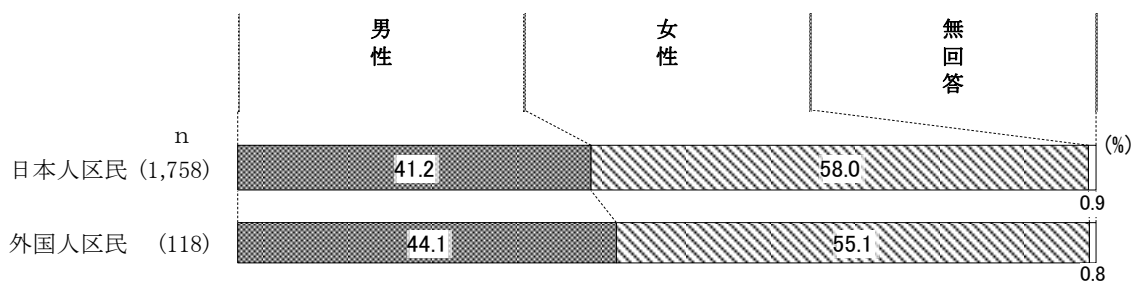
時系列で比較すると、「男性」(平成29年：44.1% 平成25年：37.1%)が7.0ポイント増加している。一方、「女性」(平成29年：55.1% 平成25年：62.1%)が7.0ポイント減少している。(図表1-1)

<図表1-1>性別



日本人区民と比較して、特に大きな違いはみられない。(図表1-2)

<図表1-2>日本人区民との比較



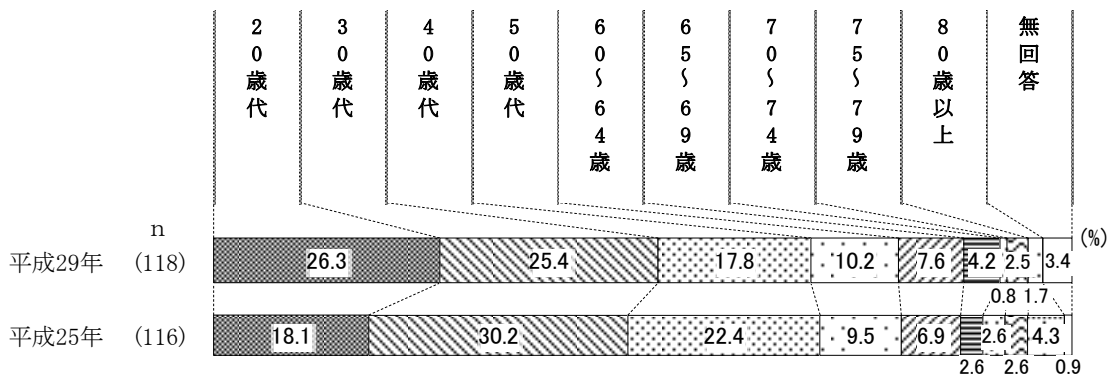
## (2) 年齢

**問2** あなたの年齢を記入してください。

回答者の年齢は、「20歳代」が26.3%、「30歳代」が25.4%、「40歳代」が17.8%と続く。65歳以上は合計9.2%（前期高齢者：5.0%、後期高齢者：4.2%）となっている。

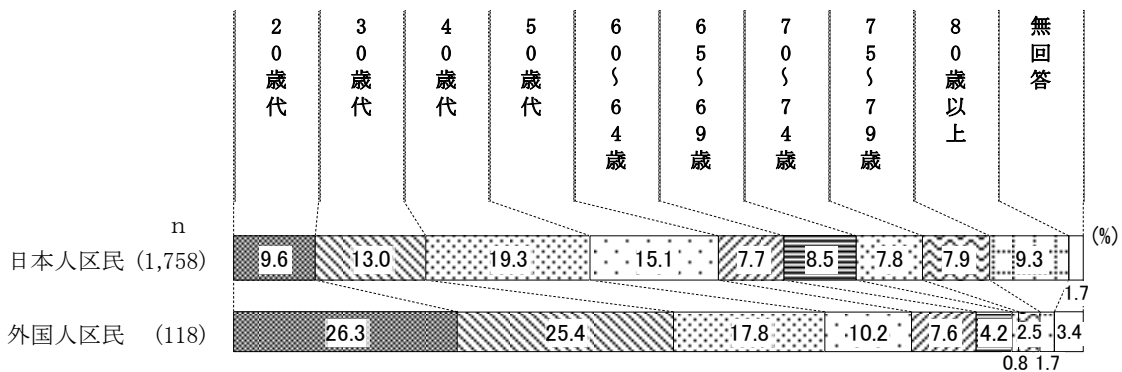
時系列で比較すると、「20歳代」（平成29年：26.3% 平成25年：18.1%）が8.2ポイント増加している。（図表1-3）

<図表1-3>年齢



日本人区民と比較すると、「20歳代」（日本人区民：9.6% 外国人区民：26.3%）は16.7ポイント、「30歳代」（日本人区民：13.0% 外国人区民：25.4%）は12.4ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。（図表1-4）

<図表1-4>日本人区民との比較



### (3) 国籍

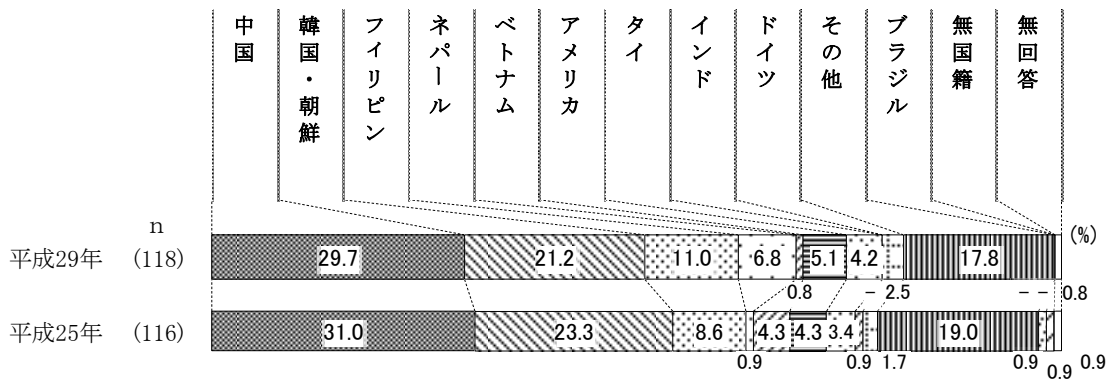
**問3** あなたの国籍に○をつけてください。

回答者の国籍は、「中国」が29.7%で最も高く、次いで「韓国・朝鮮」が21.2%となっている。

また、「その他」(17.8%)では、台湾、オーストラリア、ミャンマーなどがあげられる。

時系列で比較すると、「ネパール」(平成29年：6.8% 平成25年：0.9%)が5.9ポイント増加している。(図表1-5)

<図表1-5> 国籍



※今回調査の選択肢「韓国・朝鮮」は、前回調査の選択肢「韓国」となっている。

※今回調査より、選択肢「ブラジル」及び「無国籍」が削除された。

(4) 身長・体重

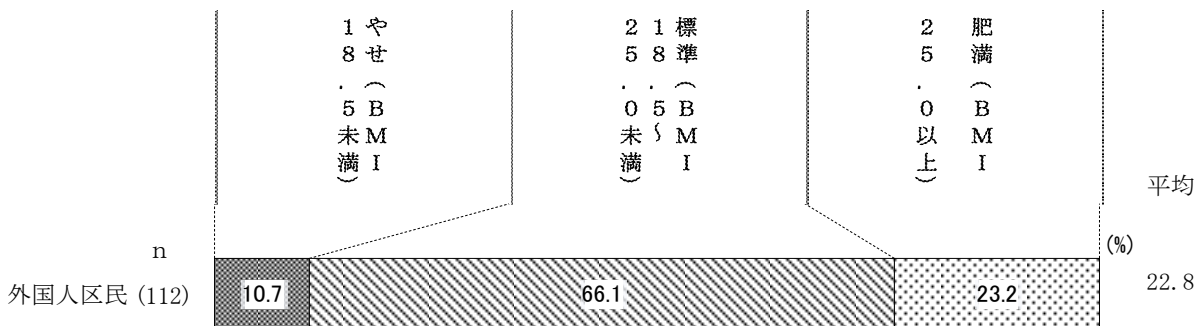
問4 あなたの身長、体重を分かる範囲で記入してください。

※身長・体重については、BMIを求めるものなので、ここに表記していない。

■BMI

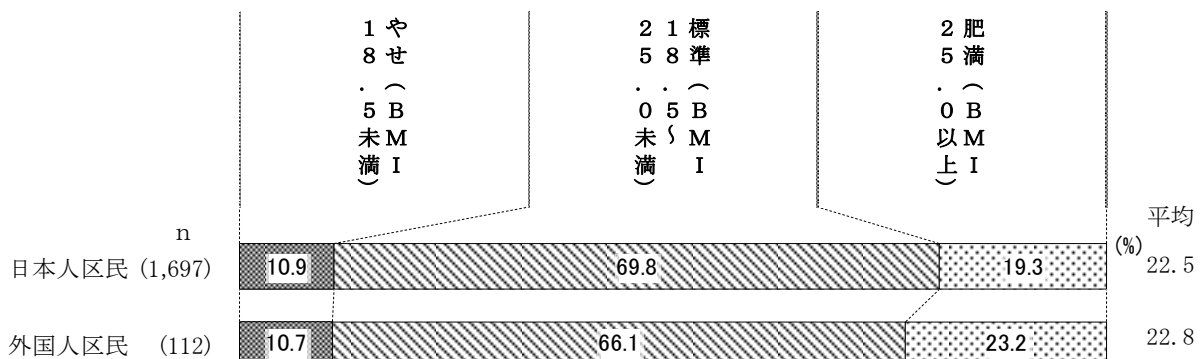
身長と体重の結果をもとにBMIを算出した結果、平均は22.8である。構成比は「やせ (BMI 18.5未満)」が10.7%、「標準 (BMI 18.5~25.0未満)」が66.1%、「肥満 (BMI 25.0以上)」が23.2%である。(図表1-6)

<図表1-6> BMI



日本人区民と比較して、特に大きな違いはみられない。(図表1-7)

<図表1-7> 日本人区民との比較



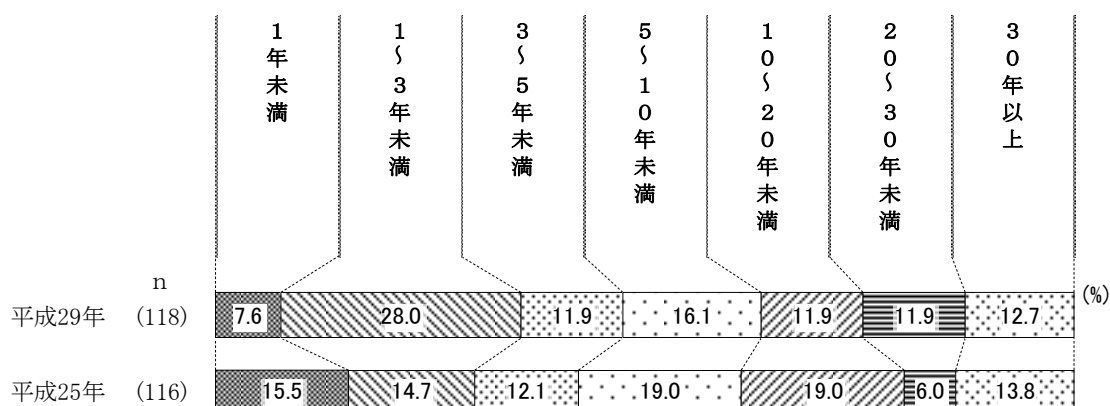
## (5) 居住年数

問5 あなたは大田区に何年くらいの間お住まいですか。(〇は1つ)

回答者の居住年数は、「1～3年未満」が28.0%で最も高く、次いで「5～10年未満」が16.1%、「30年以上」が12.7%となっている。

時系列で比較すると、「1～3年未満」(平成29年：28.0% 平成25年：14.7%)が13.3ポイント、「20～30年未満」(平成29年：11.9% 平成25年：6.0%)が5.9ポイント、それぞれ増加している。一方、「1年未満」(平成29年：7.6% 平成25年：15.5%)が7.9ポイント、「10～20年未満」(平成29年：11.9% 平成25年：19.0%)が7.1ポイント、それぞれ減少している。(図表1-8)

<図表1-8> 居住年数



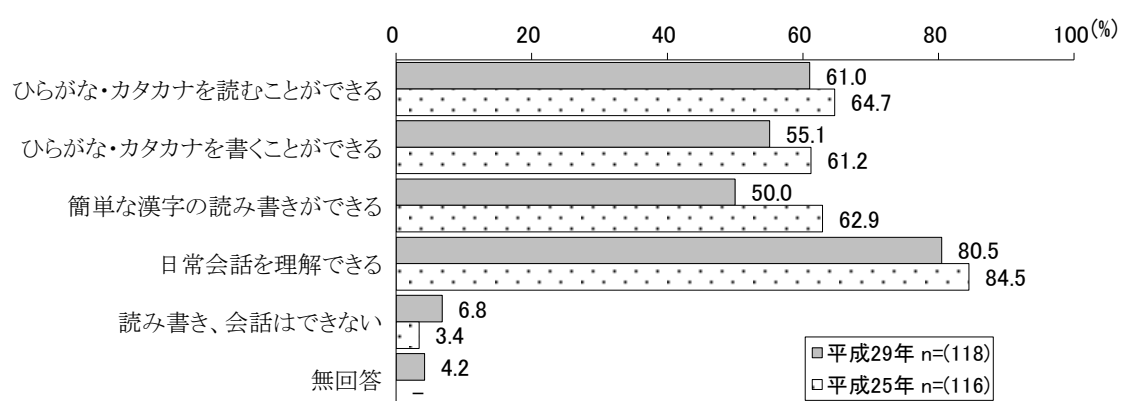
## (6) 日本語の理解度

問6 あなたは日本語を理解できますか。(○はいくつでも)

回答者の日本語の理解度は、「日常会話を理解できる」が80.5%と最も高い。

時系列で比較すると、「ひらがな・カタカナを書くことができる」(平成29年:55.1% 平成25年:61.2%)が6.1ポイント、「簡単な漢字の読み書きができる」(平成29年:50.0% 平成25年:62.9%)が12.9ポイント、それぞれ減少している。(図表1-9)

<図表1-9> 日本語の理解度 (複数回答)



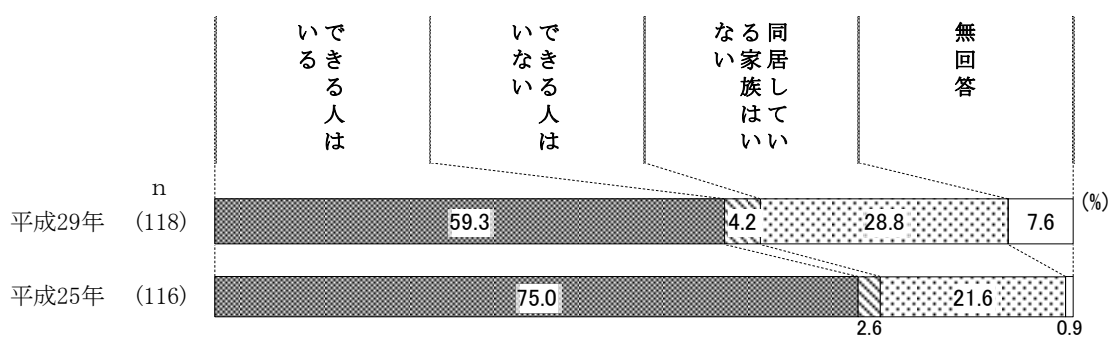
## (7) 同居家族の日本語の理解

問7 同居しているご家族の中で、日本語を理解できる方はいますか。(○は1つ)

同居家族の中に日本語を理解「できる人はいる」が59.3%、「できる人はいない」が4.2%となっている。

時系列で比較すると、「できる人はいる」(平成29年：59.3% 平成25年：75.0%)が15.7ポイント減少している。一方、「同居している家族はいない」(平成29年：28.8% 平成25年：21.6%)が7.2ポイント増加している。(図表1-10)

<図表1-10> 同居家族の日本語の理解





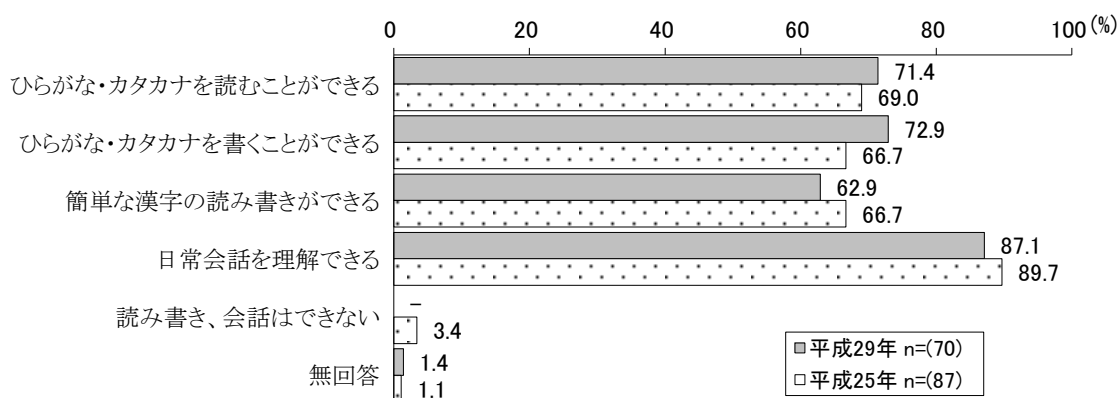
## (7-1) 同居家族の日本語の理解度

(問7で「1 できる人はいる」と回答した方におたずねします。)  
 問7-1 そのご家族は、どの程度日本語を理解できますか。(〇はいくつでも)

同居家族に日本語を理解「できる人はいる」と回答した方にその理解度をたずねた。その結果、「日常会話を理解できる」が87.1%と最も高く、次いで「ひらがな・カタカナを書くことができる」が72.9%となっている。

時系列で比較すると、「ひらがな・カタカナを書くことができる」(平成29年:72.9% 平成25年:66.7%)で6.2ポイント増加している。(図表1-11)

<図表1-11> 同居家族の日本語の理解度



※今回調査より、選択肢「読み書き、会話はできない」は削除された。

## (8) 就労形態

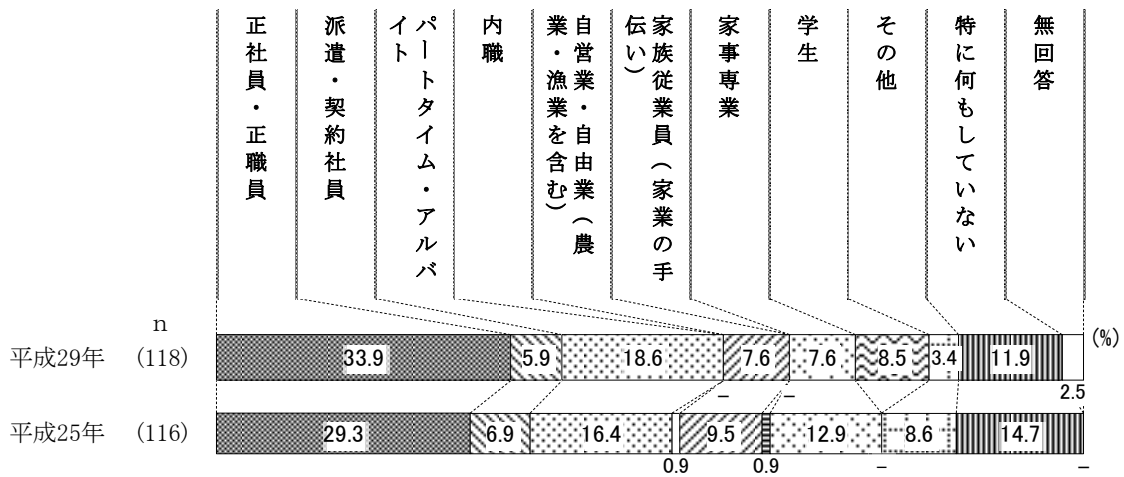
問8 あなたはどのような働き方をしていますか。(○は主なもの1つ)

回答者の就労形態は、「正社員・正職員」が33.9%と最も高く、次いで「パートタイム・アルバイト」が18.6%となっている。

一方、「特に何もしていない」は11.9%となっている。

時系列で比較すると、「家事専業」(平成29年：7.6% 平成25年：12.9%)で5.3ポイント、「その他」(平成29年：3.4% 平成25年：8.6%)で5.2ポイント、それぞれ減少している。(図表1-12)

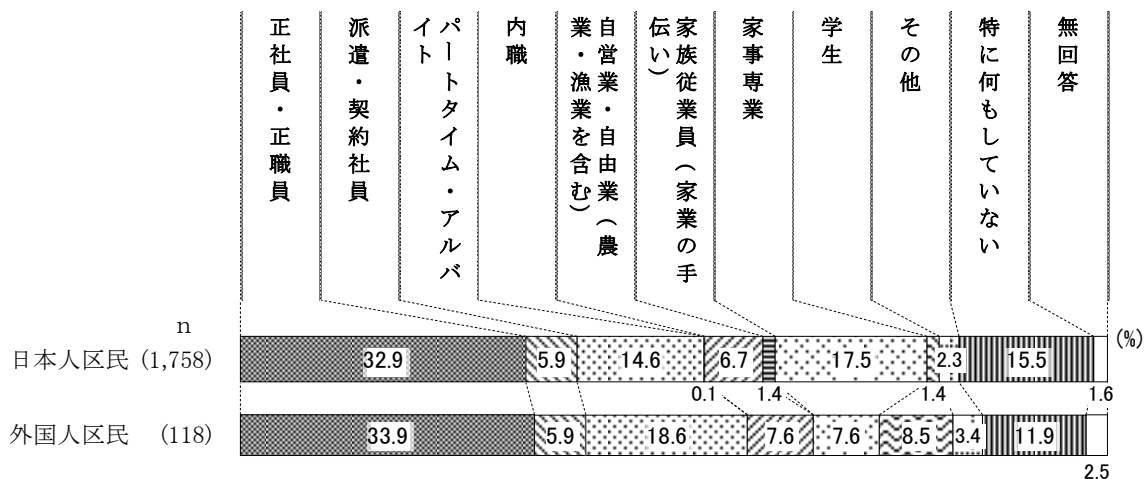
<図表1-12> 就労形態



※今回調査から、選択肢「学生」が追加された。

日本人区民と比較すると、「学生」(日本人区民：1.4% 外国人区民：8.5%)は外国人区民の方が7.1ポイント高くなっている。一方、「家事専業」(日本人区民：17.5% 外国人区民：7.6%)は日本人区民の方が9.9ポイント高くなっている。(図表1-13)

<図表1-13> 日本人区民との比較



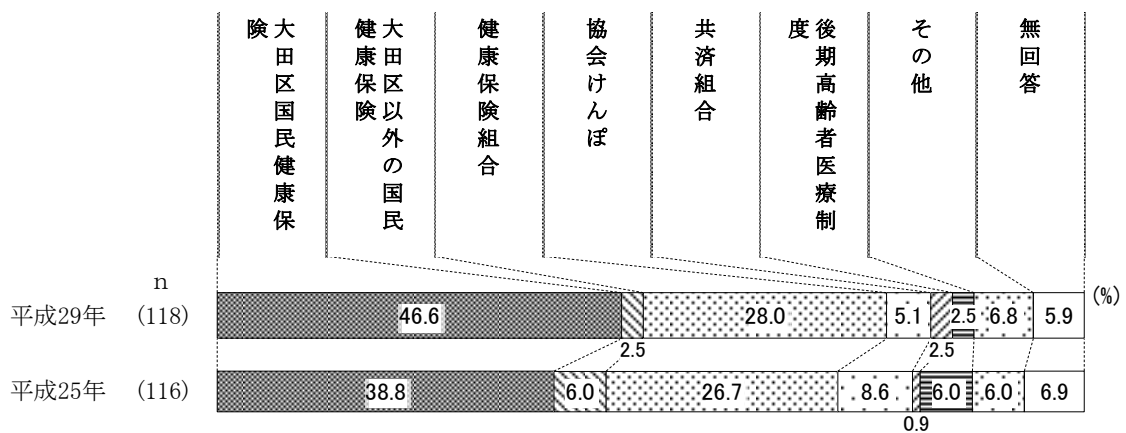
(9) 加入している健康保険

問9 あなたの加入している（扶養に入っている）健康保険は何ですか。（○は1つ）

回答者が加入している健康保険は、「大田区国民健康保険」が46.6%と最も高く、次いで「健康保険組合」が28.0%となっている。

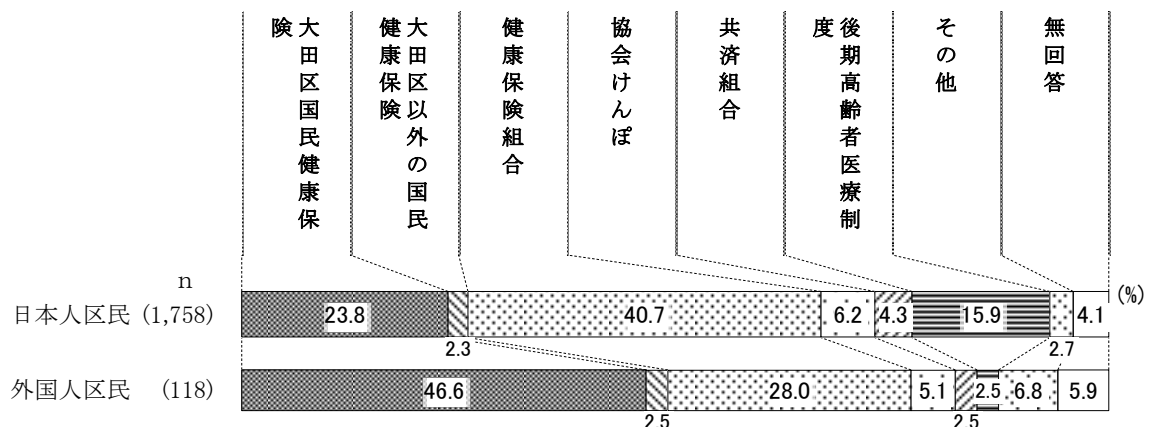
時系列で比較すると、「大田区国民健康保険」（平成29年：46.6% 平成25年：38.8%）が7.8ポイント増加した。（図表1-14）

<図表1-14> 加入している健康保険



日本人区民と比較すると、「大田区国民健康保険」（日本人区民：23.8% 外国人区民：46.6%）は外国人区民の方が22.8ポイント高くなっている。一方、「健康保険組合」（日本人区民：40.7% 外国人区民：28.0%）は12.7ポイント、「後期高齢者医療制度」（日本人区民：15.9% 外国人区民：2.5%）は13.4ポイント、それぞれ日本人区民の方が高くなっている。（図表1-15）

<図表1-15> 日本人区民との比較



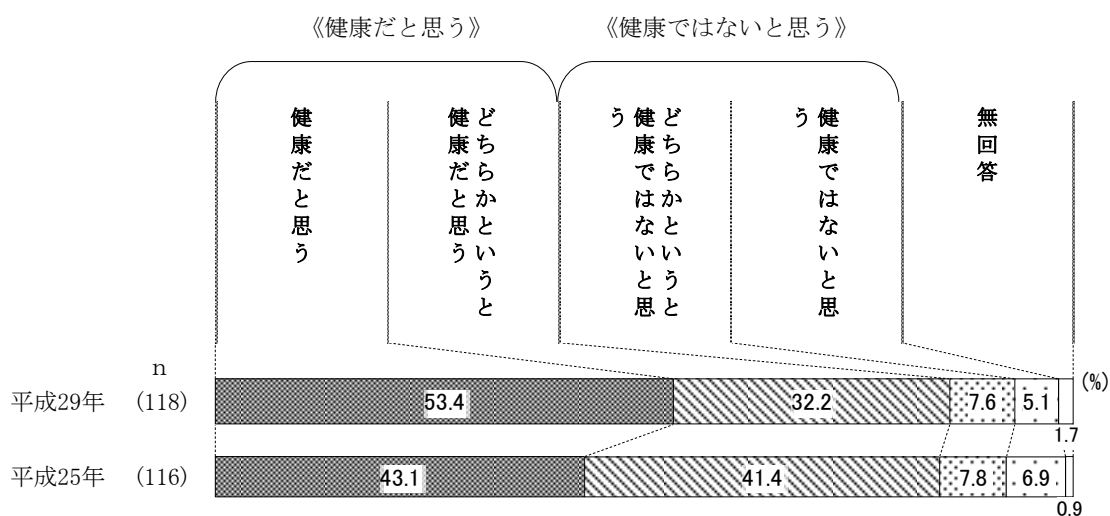
(10) 健康状態

問10 あなたは自分自身が健康だと思いますか。(○は1つ)

健康状態について、「健康だと思う」(53.4%)と「どちらかという健康だと思う」(32.2%)を合わせて、「健康だと思う」が8割台半ばとなっている。

時系列でも、特に大きな違いはみられない。(図表1-16)

<図表1-16>健康状態



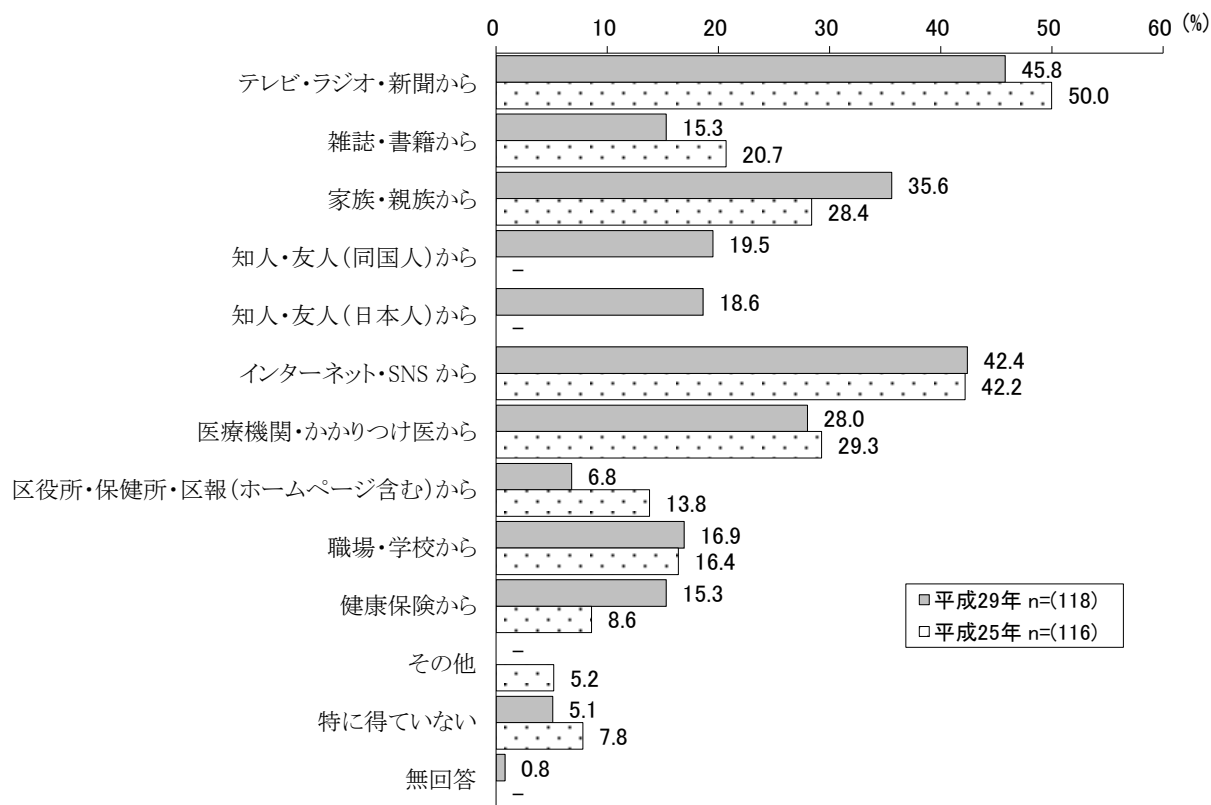
## (11) 健康に関する情報源

問11 健康情報はどのようにして得ていますか。(〇はいくつでも)

健康に関する情報源は、「テレビ・ラジオ・新聞から」が45.8%で最も高く、次いで「インターネット・SNSから」が42.4%である。以下、「家族・親族から」が35.6%、「医療機関・かかりつけ医から」が28.0%となっている。

時系列で比較すると、「家族・親族から」(平成29年：35.6% 平成25年：28.4%)で7.2ポイント、「健康保険から」(平成29年：15.3% 平成25年：8.6%)で6.7ポイント増加している。一方、「雑誌・書籍から」(平成29年：15.3% 平成25年：20.7%)で5.4ポイント、「区役所・保健所・区報(ホームページ含む)から」(平成29年：6.8% 平成25年：13.8%)で7.0ポイント減少している。(図表1-17)

<図表1-17> 健康に関する情報源(複数回答)



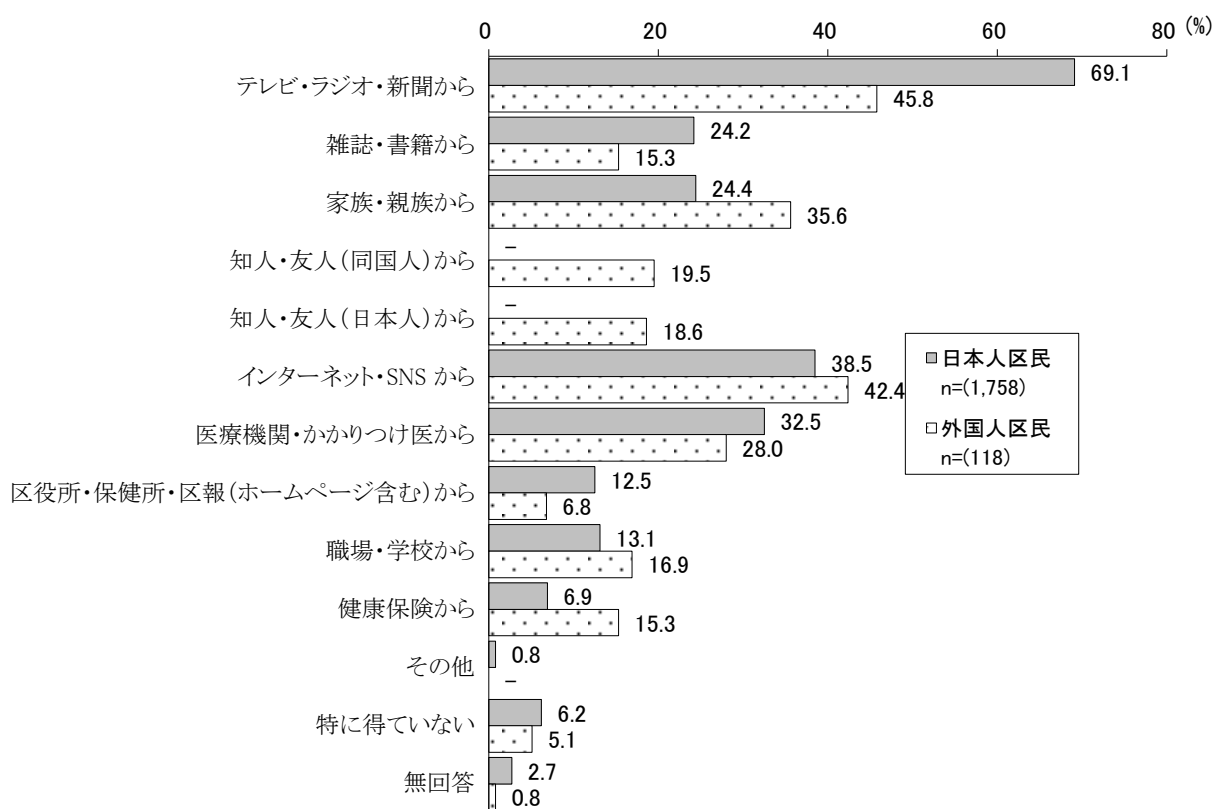
※前回調査における選択肢「知人・家族から」は、今回調査より「家族・親族から」、「知人・友人(同国人)から」、「知人・友人(日本人から)」の3つの選択肢に細分化された。

※今回調査の選択肢「インターネット・SNSから」は、前回調査では「インターネット・携帯電話から」となっている。

※今回調査の選択肢「特に得ていない」は、前回調査では「特にない」となっている。

日本人区民と比較すると、「家族・親族から」（日本人区民：24.4% 外国人区民：35.6%）は11.2ポイント、「健康保険から」（日本人区民：6.9% 外国人区民：15.3%）は8.4ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。一方、日本人区民が大きく上回るのは、「テレビ・ラジオ・新聞から」（日本人区民：69.1% 外国人区民：45.8%）で23.3ポイント差となっている。（図表1-18）

<図表1-18>日本人区民との比較



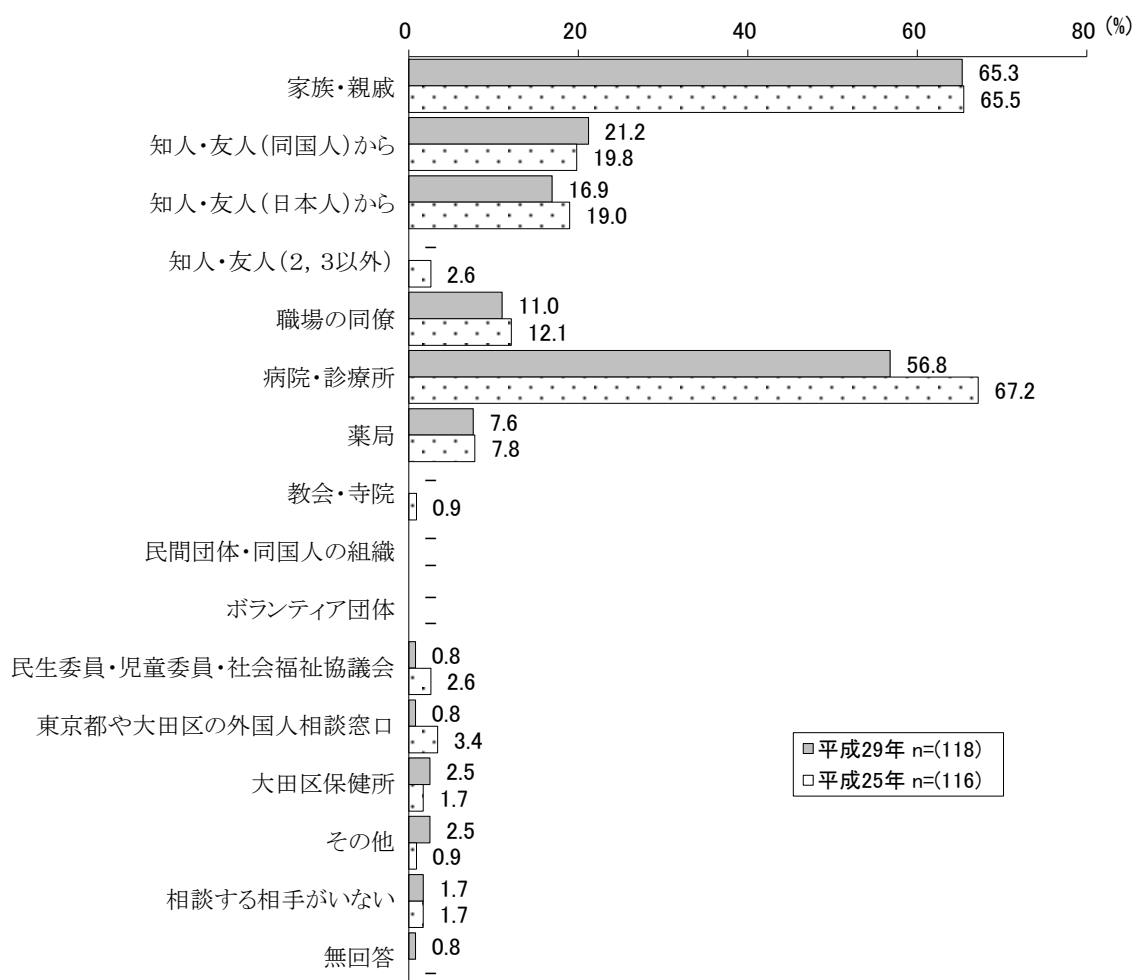
## (12) 病気のときの相談相手

問12 病気のとくに、だれに相談しますか。(〇はいくつでも)

病気のときの相談相手は、「家族・親戚」が65.3%と最も高く、次いで「病院・診療所」が56.8%となっている。以下、「知人・友人（同国人）から」が21.2%、「知人・友人（日本人）から」16.9%となっている。

時系列で比較すると、「病院・診療所」（平成29年：56.8% 平成25年：67.2%）が10.4ポイント減少している。（図表1-19）

<図表1-19> 病気のときの相談相手（複数回答）



※今回調査から選択肢「知人・友人（2,3以外）」が削除された。

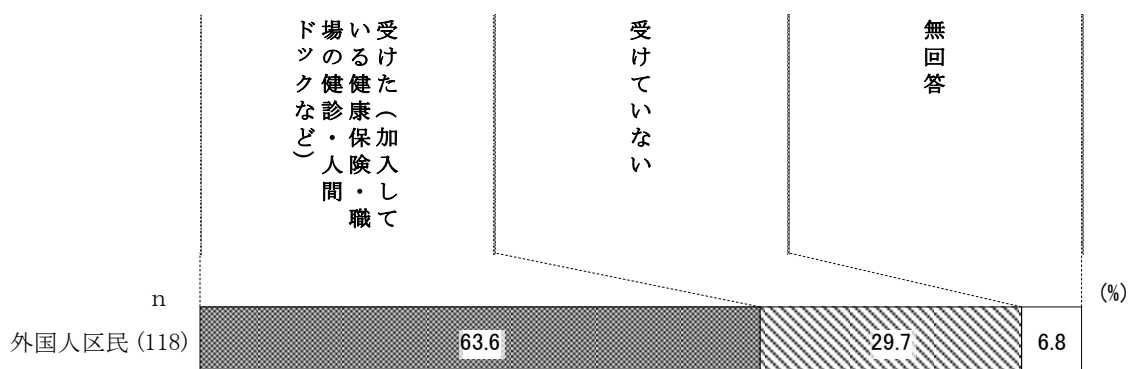
## 2 健診について

### (1) 健診の受診状況

問13 あなたはこの1年間に血液検査を含めた健診を受けましたか。(がん検診を除く)  
(〇は1つ)

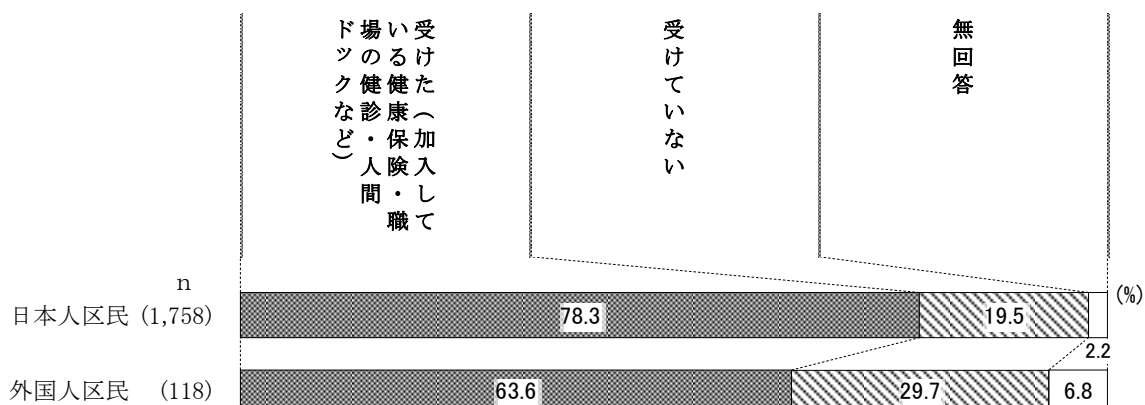
健診の受診状況は、「受けた」が63.6%、「受けていない」が29.7%となっている。(図表2-1)

<図表2-1> 健診の受診状況



日本人区民と比較すると、「受けていない」(日本人区民: 19.5% 外国人区民: 29.7%) は外国人区民の方が 10.2 ポイント高くなっている。(図表2-2)

<図表2-2> 日本人区民との比較





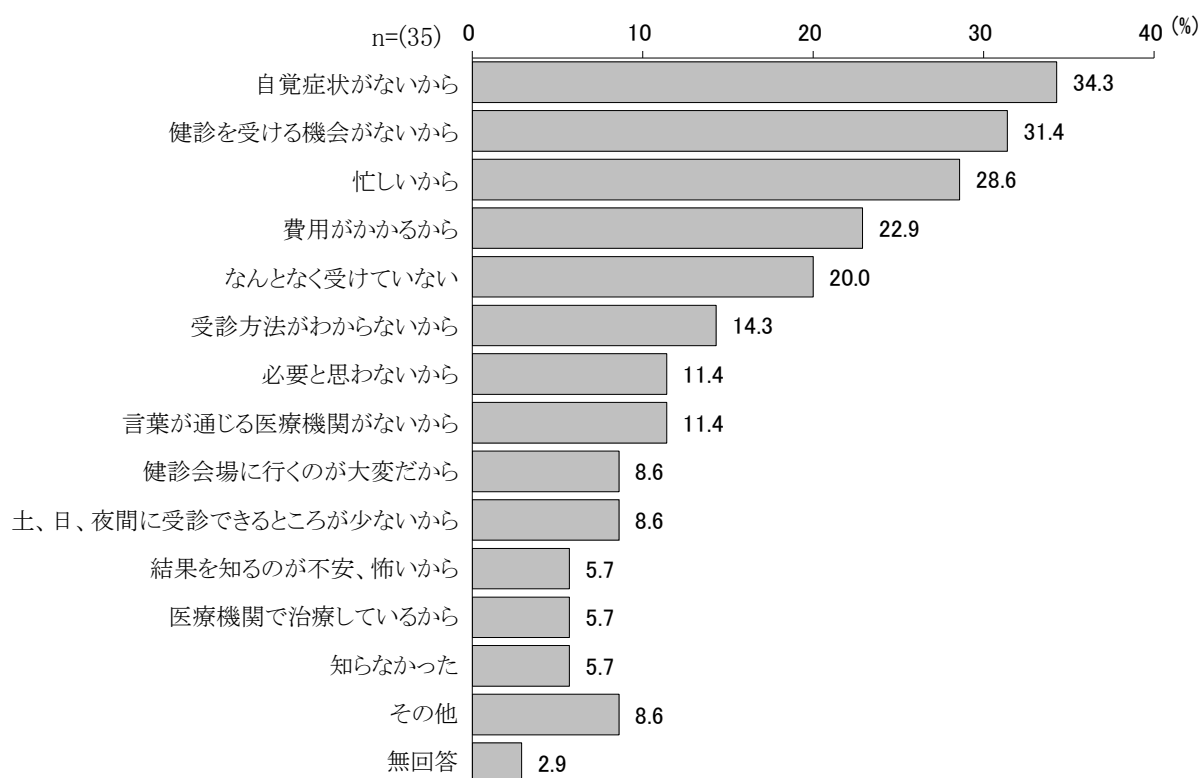
### (1-1) 健診を受診しない理由

(問13で「2 受けていない」と回答した方におたずねします。)

問13-1 理由は何ですか。(〇はいくつでも)

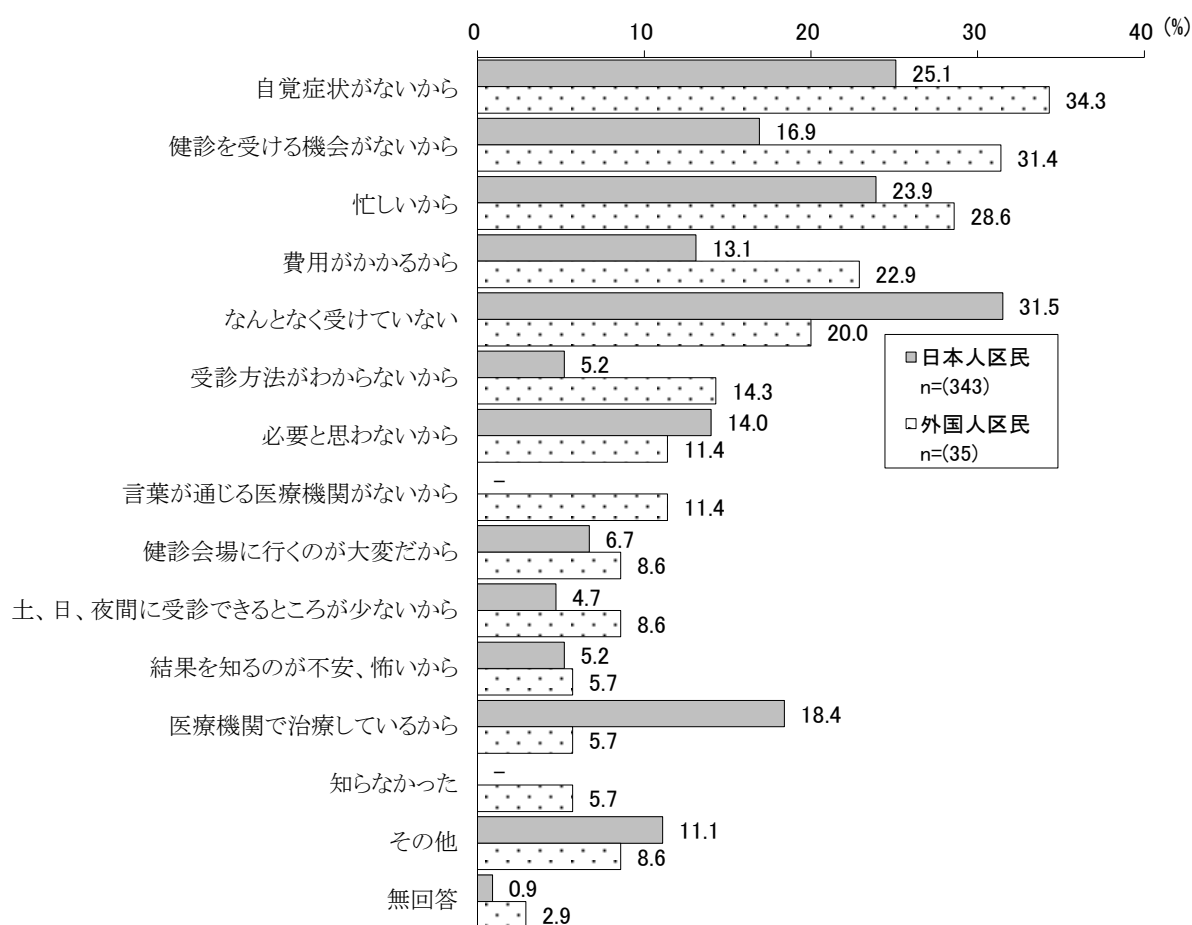
健診を受診しない理由は、「自覚症状がないから」が34.3%と最も高く、次いで「健診を受ける機会がないから」が31.4%である。以下、「忙しいから」が28.6%、「費用がかかるから」が22.9%となっている。(図表2-3)

<図表2-3> 健診を受診しない理由 (複数回答)



日本人区民と比較すると、「健診を受ける機会がないから」（日本人区民：16.9% 外国人区民：31.4%）で14.5ポイント、「費用がかかるから」（日本人区民：13.1% 外国人区民：22.9%）で9.8ポイント、「自覚症状がないから」（日本人区民：25.1% 外国人区民：34.3%）で9.2ポイント、「受診方法がわからないから」（日本人区民：5.2% 外国人区民：14.3%）で9.1ポイント、それぞれ外国人区民が上回っている。また、「言葉が通じる医療機関がないから」も11.4%となっている。（図表2-4）

<図表2-4>日本人区民との比較



※外国人区民調査の選択肢では、新たに「言葉が通じる医療機関がないから」が追加された。

### 3 特定健診・特定保健指導について

#### (1) 特定保健指導の受診状況

(40～74歳の方で、問13で「1 受けた」と回答した方におたずねします。)

問14 健診結果に問題が見られた方に対して、特定保健指導を実施しています。あなたは特定保健指導を受けましたか。(〇は1つ)

特定保健指導の受診状況は、「指導の対象となり受けた」は31.0%、「指導の対象となったが受けなかった」は10.3%となっている。一方、「指導の対象とならなかった」は48.3%となっている。

前回調査はnが少ないため、参考として掲載する。(図表3-1)

<図表3-1> 特定保健指導の受診状況

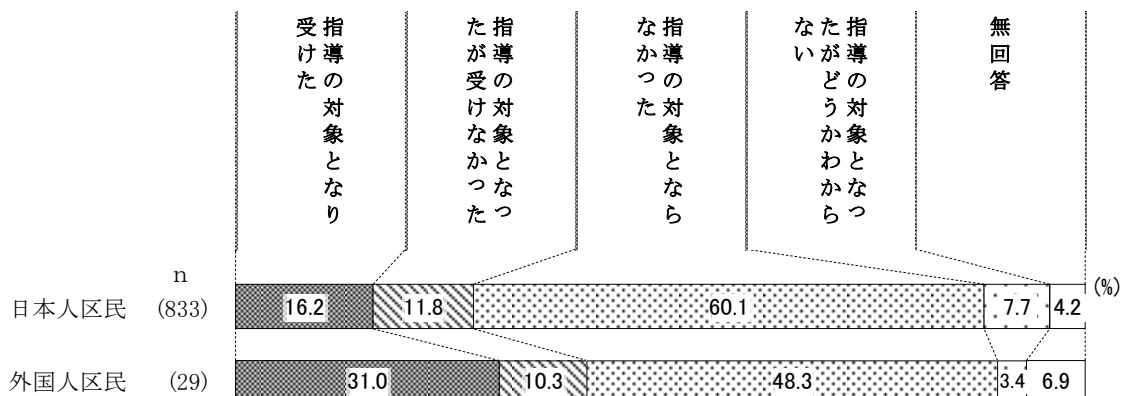


※前回調査では、「特定健診を受けた」と回答した方が本問に回答しているため、今回調査と前回調査の母数の前提が異なる。

※今回調査より、「指導の対象となったかどうかわからない」が追加された。

日本人区民と比較すると、「指導の対象となり受けた」(日本人区民：16.2% 外国人区民：31.0%)は外国人区民の方が14.8ポイント高くなっている。一方、「指導の対象とならなかった」(日本人区民：60.1% 外国人区民：48.3%)は日本人区民の方が11.8ポイント高くなっている。(図表3-2)

<図表3-2> 日本人区民との比較

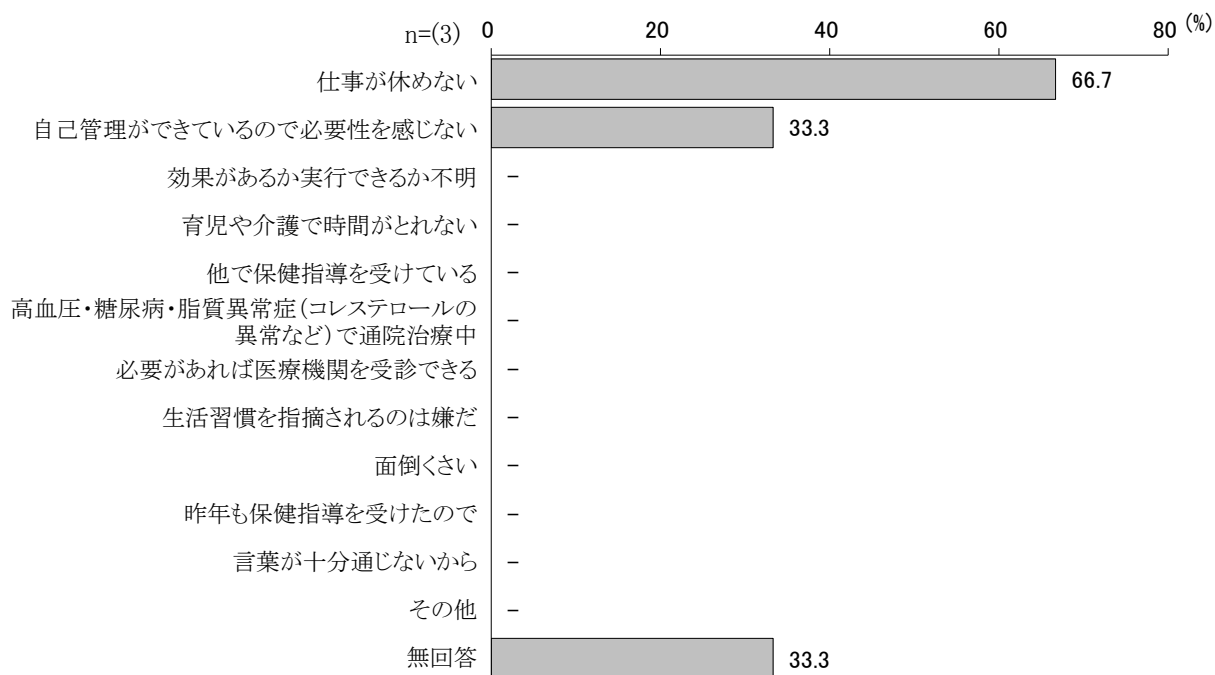


### (1-1) 特定保健指導を受けなかった理由

(問 14 で「2 指導の対象となったが受けなかった」と回答した方におたずねします。)  
問 14-1 受けなかった理由はなんですか。(〇はいくつでも)

n が少ないため、参考として掲載する。(図表 3-3)

<図表 3-3> 特定保健指導を受けなかった理由 (複数回答)



## 4 がん予防・がん対策について

### (1) 大田区が行っているがん検診の認知度

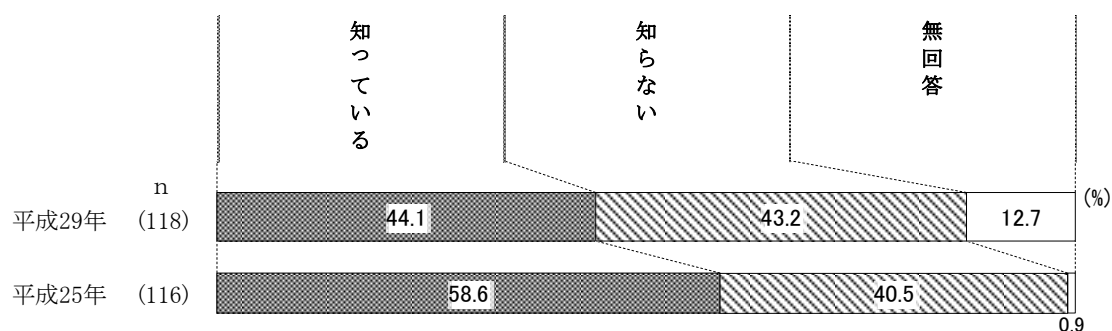
【全ての方におたずねします。】

問15 あなたは大田区が実施しているがん検診について知っていますか。(○は1つ)

大田区が行っているがん検診を「知っている」が44.1%、「知らない」は43.2%となっている。

時系列で比較すると、「知っている」(平成29年：44.1% 平成25年：58.6%)が14.5ポイント減少している。(図表4-1)

<図表4-1>大田区が行っているがん検診の認知度



## (1-1) がん検診の受診状況

(問15で「1 知っている」と回答した方におたずねします。)

問15-1 がん検診の中で1年または2年に1回は受けているものを選んでください。また、受診した場所もそれぞれのがん検診についてお答えください。

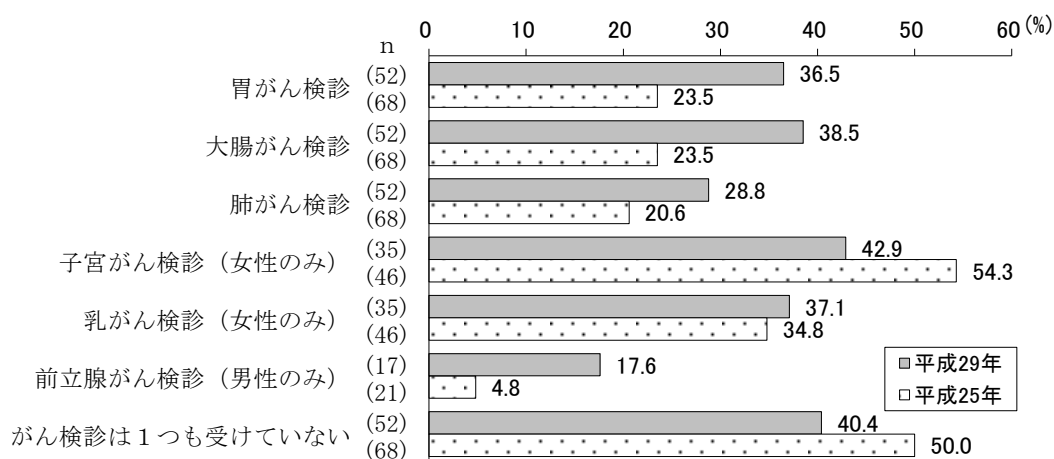
なお、がん検診を全く受けていない方は6ページの表の下の欄へ○印をつけ、問15-2へ進んでください。

全体(100.0%)から「がん検診は1つも受けていない」を除くと、何らかのがん検診を受けた人は59.6%となる。

受けた中では、「子宮がん検診(女性のみ)」が42.9%、「大腸がん検診」が38.5%、「乳がん検診(女性のみ)」が37.1%、「胃がん検診」が36.5%、「前立腺がん検診(男性のみ)」が17.6%となっている。

時系列で比較すると、「子宮がん検診(女性のみ)」を除いたすべてのがん検診の受診率が前回調査より増加している。(図表4-2)

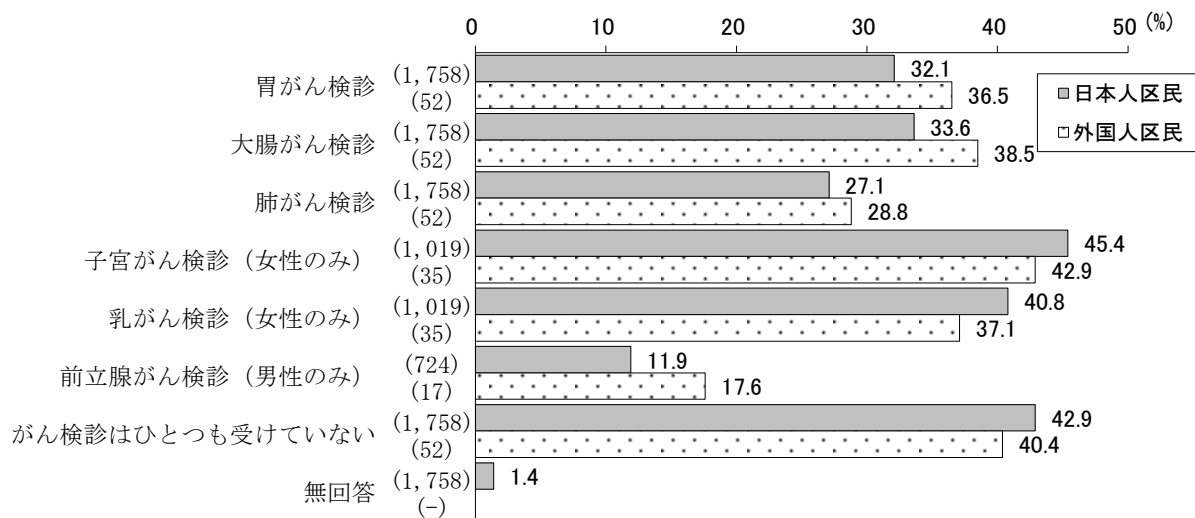
<図表4-2> がん検診の受診状況(複数回答)



※順番は調査票の選択肢順とする。

「前立腺がん検診（男性のみ）」はnが少ないため、参考として掲載する。  
日本人区民と比較して、特に大きな違いはみられない。（図表4－3）

<図表4－3>日本人区民との比較



(1-2) がん検診の受診場所

(再掲)

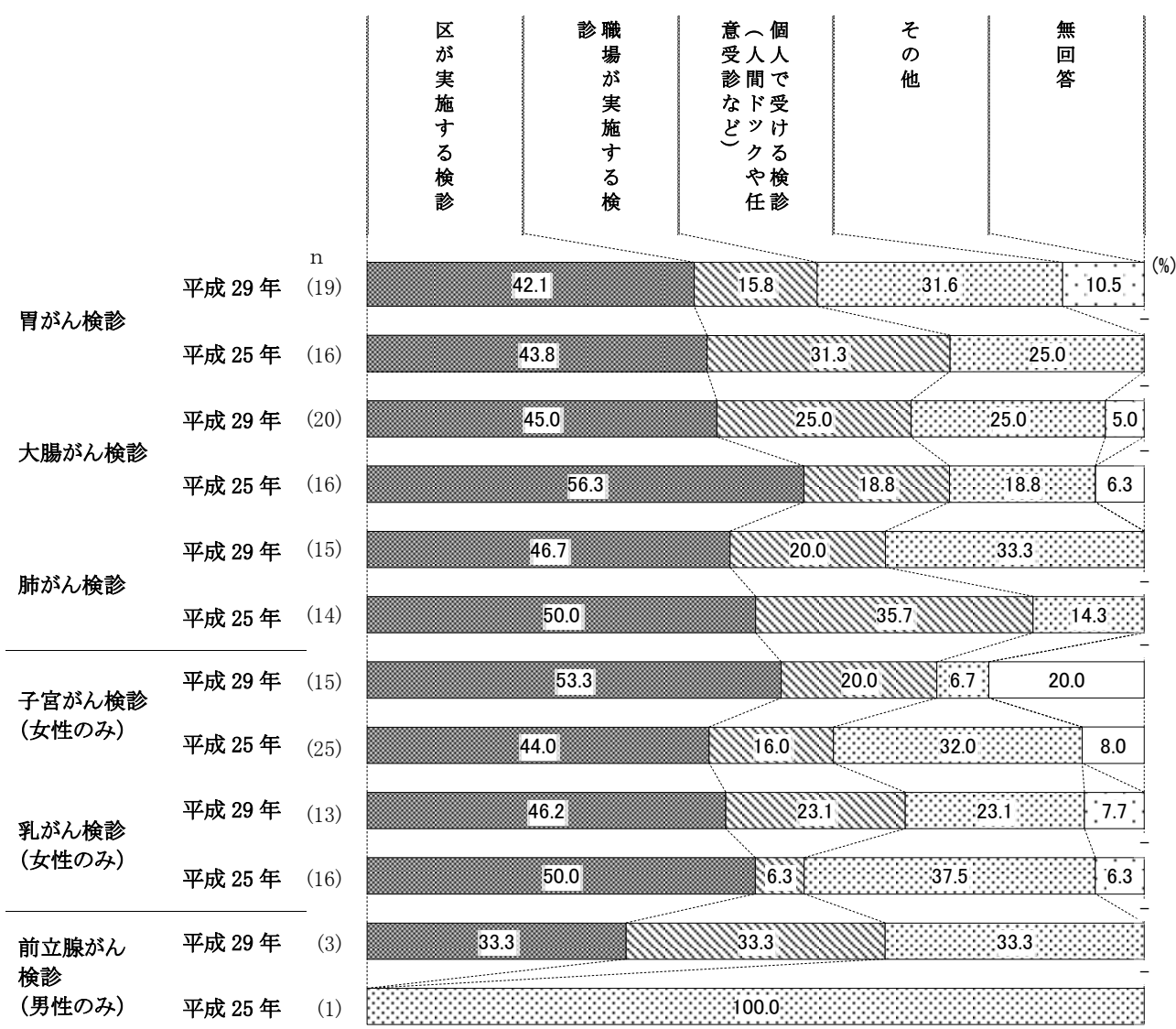
(問15で「1 知っている」と回答した方におたずねします。)

問15-1 がん検診の中で1年または2年に1回は受けているものを選んでください。また、受診した場所もそれぞれのがん検診についてお答えください。

なお、がん検診を全く受けていない方は6ページの表の下の欄へ○印をつけ、問15-2へ進んでください。

nが少ないため、参考として掲載する。(図表4-4)

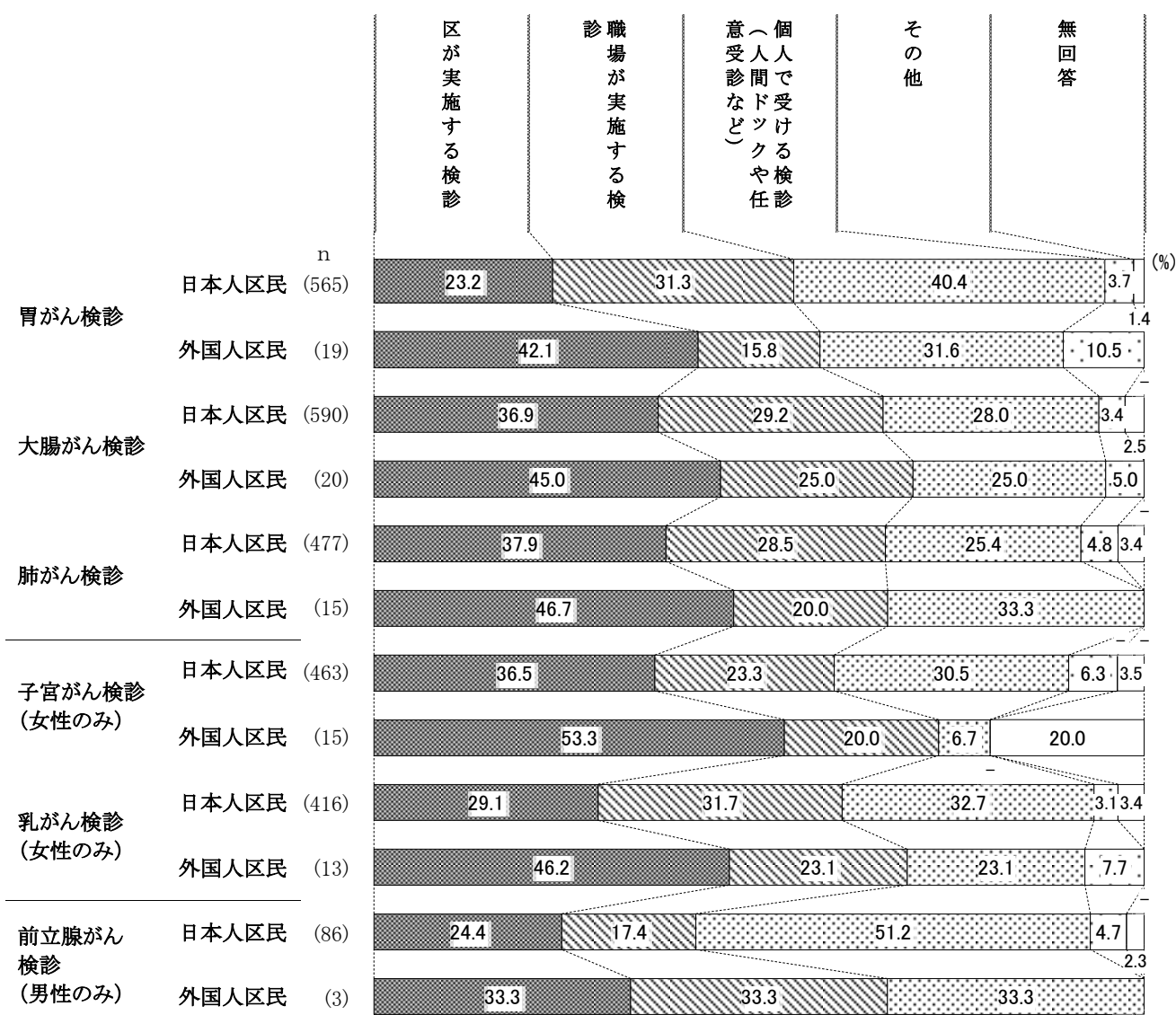
<図表4-4> がん検診の受診場所





nが少ないため、参考として掲載する。(図表4-5)

<図表4-5>日本人区民との比較



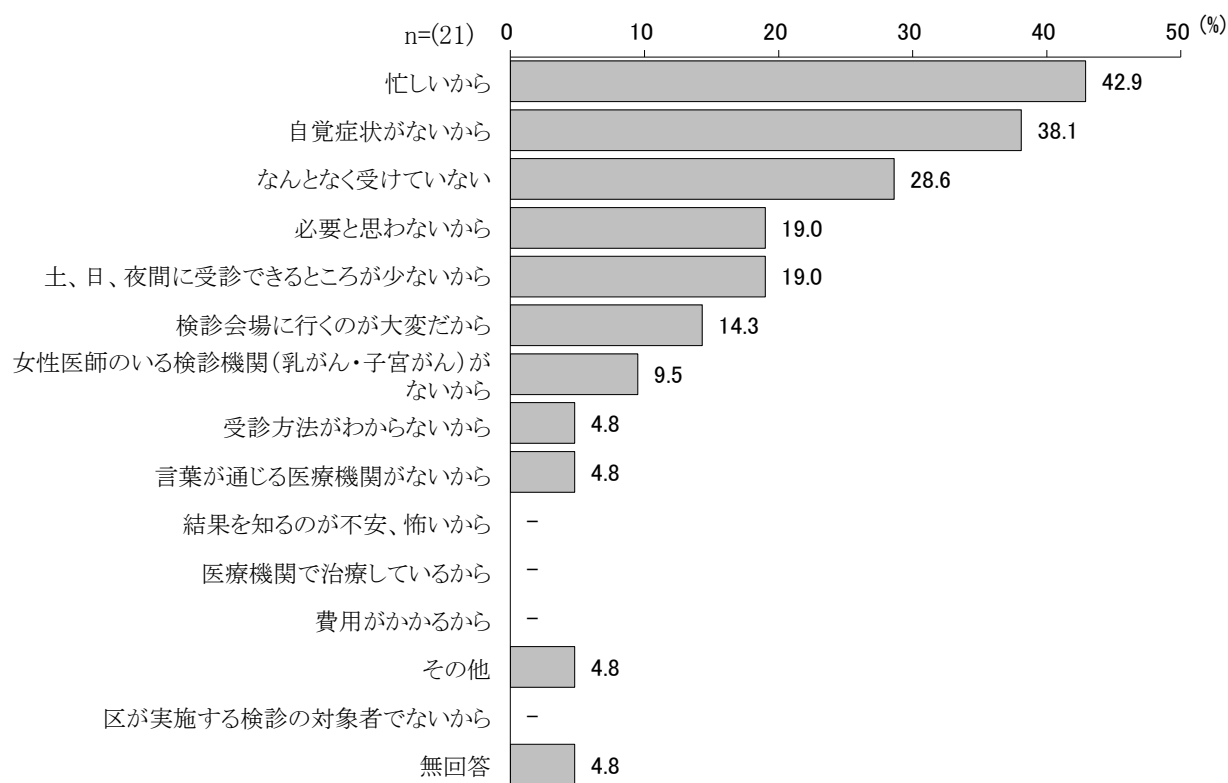
### (1-3) がん検診を受診しない理由

(問15-1で「がん検診は1つも受けていない」と回答した方におたずねします。)

問15-2 受けなかった理由はなんですか。(〇はいくつでも)

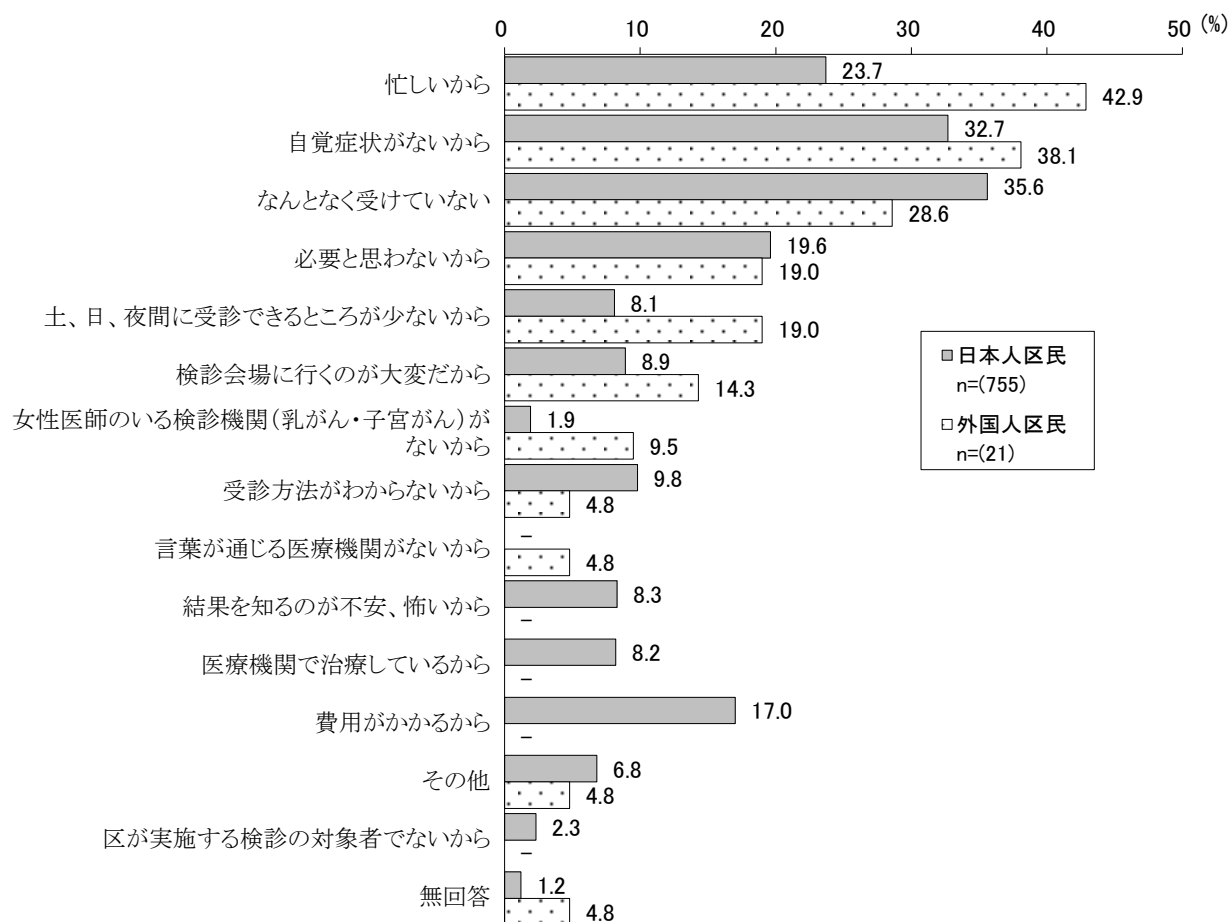
nが少ないため、参考として掲載する。(図表4-6)

<図表4-6> がん検診を受けなかった理由(複数回答)



nの少ないため、参考として掲載する。(図表4-7)

<図表4-7>日本人区民との比較



※外国人区民調査の選択肢では、新たに「言葉が通じる医療機関がないから」が追加された。

## 5 健康づくりについて

### (1) 運動の状況

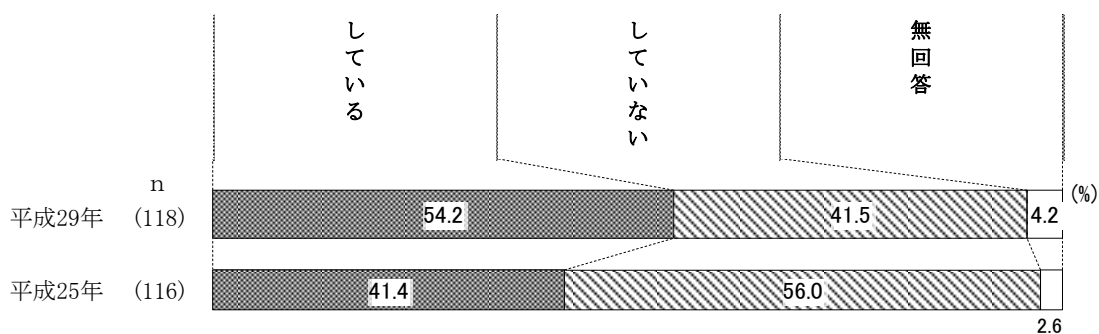
【全ての方におたずねします。】

問16 1日30分以上の軽く汗をかく運動を、週2回以上していますか。(○は1つ)

運動の状況は、「している」が54.2%、「していない」が41.5%となっている。

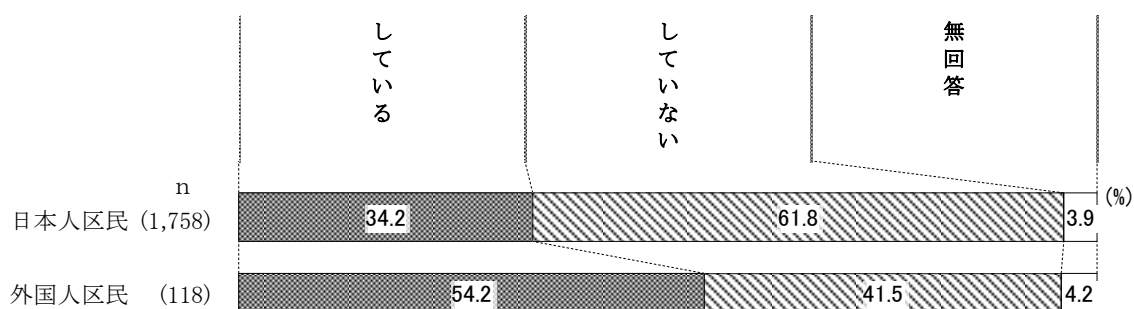
時系列で比較すると、「している」(平成29年：54.2% 平成25年：41.4%)が12.8ポイント増加し、「していない」を上回った。(図表5-1)

<図表5-1> 運動の状況



日本人区民と比較すると、「している」(日本人区民：34.2% 外国人区民：54.2%)は外国人区民の方が20.0ポイント高くなっている。(図表5-2)

<図表5-2> 日本人区民との比較



## (1-1) 運動をしていない理由

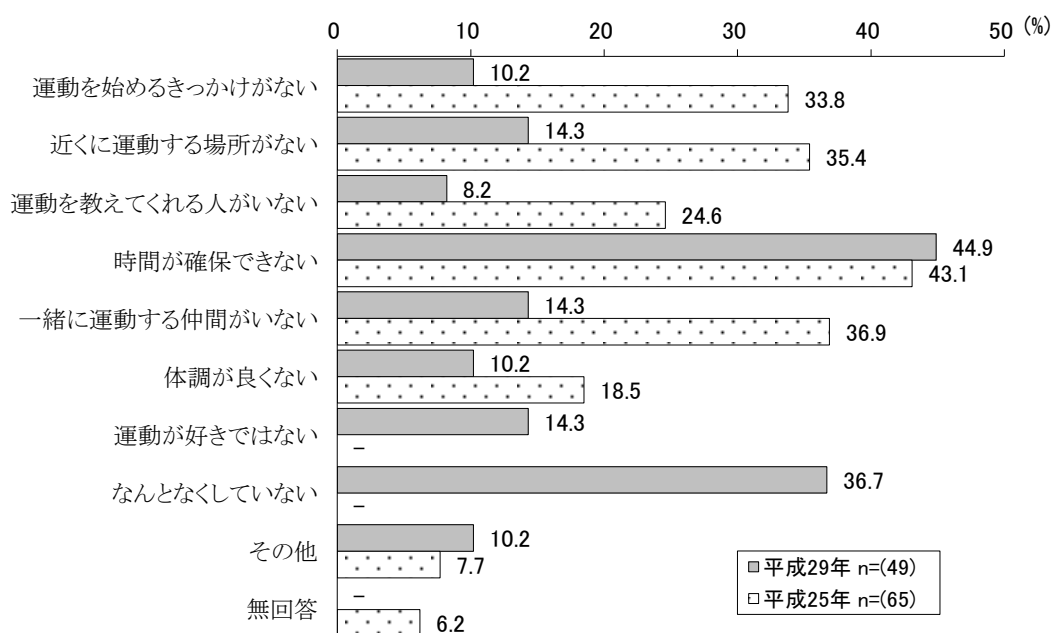
(問16で「2 していない」と回答した方におたずねします。)  
 問16-1 していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

運動の状況で、「していない」と回答した方に、その理由をたずねた。その結果、「時間が確保できない」が44.9%と最も高く、次いで「なんとなくしていない」が36.7%となっている。

時系列で比較すると、「時間が確保できない」、「その他」を除いて、ほぼすべての選択肢でポイントが減少している。

これは、新たに追加された選択肢（「運動が好きではない」、「なんとなくしていない」）の選択割合が相対的に高いことことから、追加された選択肢による影響も考えられる。(図表5-3)

<図表5-3> 運動をしていない理由（複数回答）

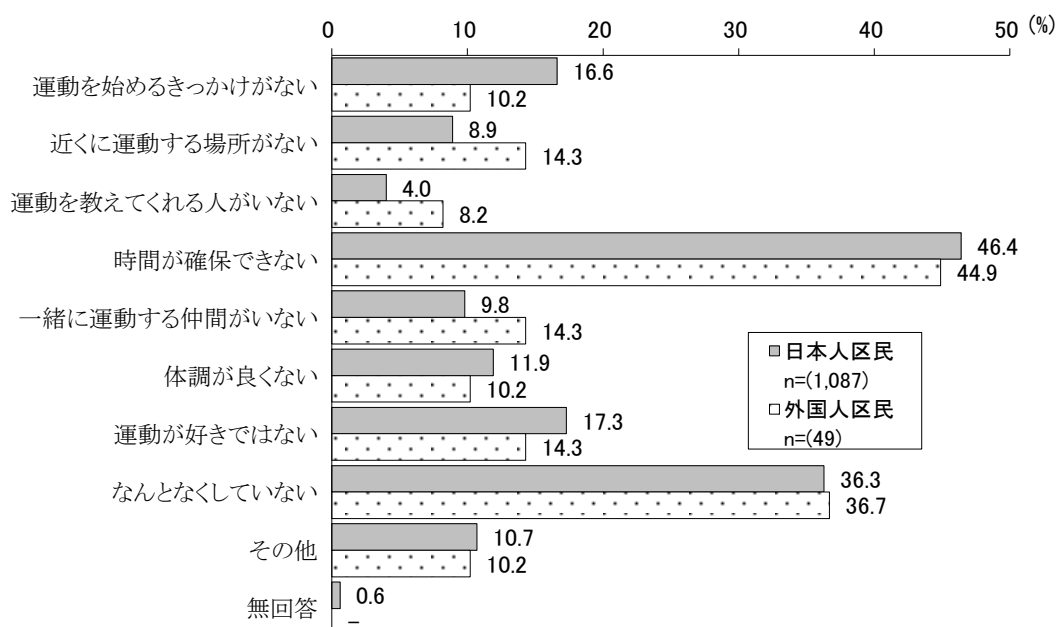


※前回調査の設問は「どういう条件を整えば、身体をより動かせますか」となっており、今回調査における設問の趣旨と類似しているため、参考までに経年比較した。

※今回調査より、選択肢「運動が好きではない」、「なんとなくしていない」が追加された。

日本人区民と比較すると、「近くに運動する場所がない」（日本人区民：8.9% 外国人区民：14.3%）は外国人区民の方が5.4ポイント高くなっている。（図表5－4）

<図表5－4>日本人区民との比較



## (2) 各種活動への参加状況

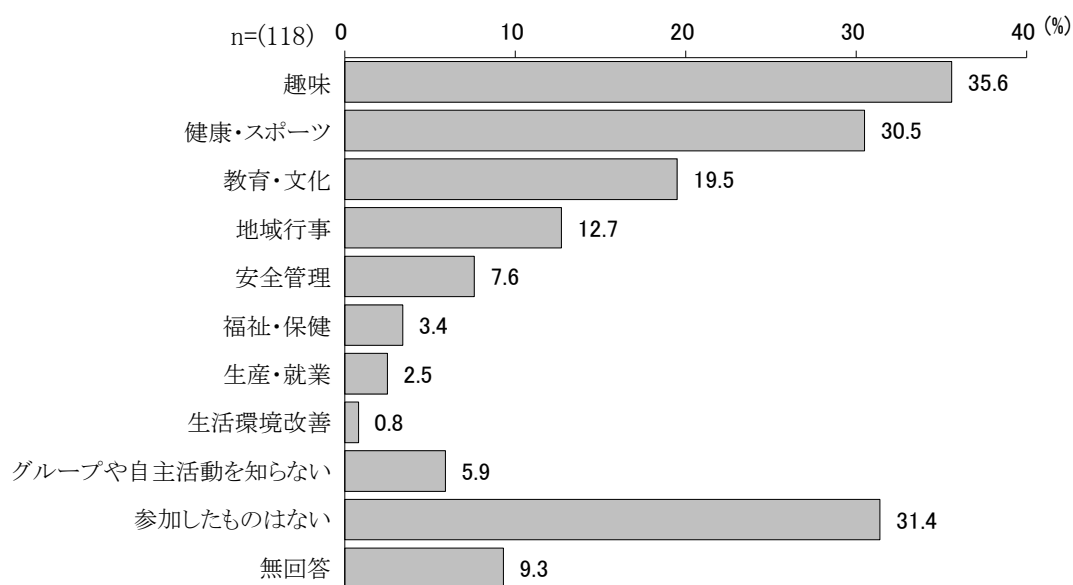
【全ての方におたずねします。】

問17 あなたは、この1年間に、次のような活動に参加したことがありますか。  
(〇はいくつでも)

この1年間で参加した活動は、「趣味」が35.6%と最も高く、次いで「健康・スポーツ」が30.5%となっている。

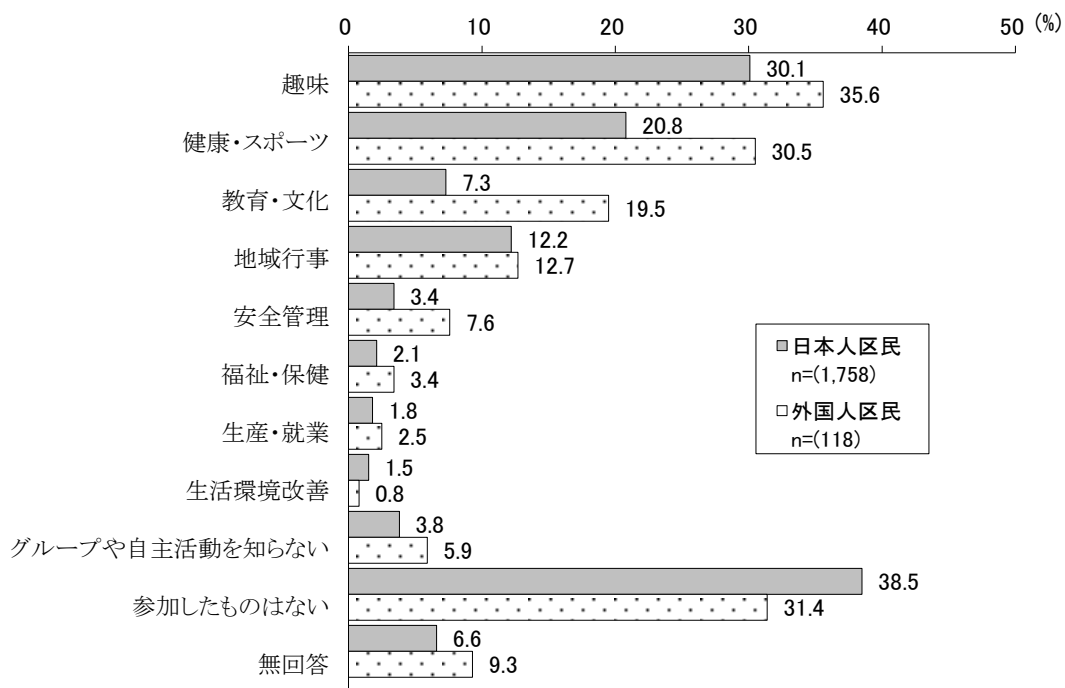
一方、「参加したものはなし」が31.4%となっている。(図表5-5)

<図表5-5>各種活動への参加状況(複数回答)



日本人区民と比較すると、「趣味」（日本人区民：30.1% 外国人区民：35.6%）は 5.5 ポイント、「健康・スポーツ」（日本人区民：20.8% 外国人区民：30.5%）は 9.7 ポイント、「教育・文化」（日本人区民：7.3% 外国人区民：19.5%）は 12.2 ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。（図表 5－6）

<図表 5－6>日本人区民との比較





## 6 こころの健康について

### (1) ストレスの状況

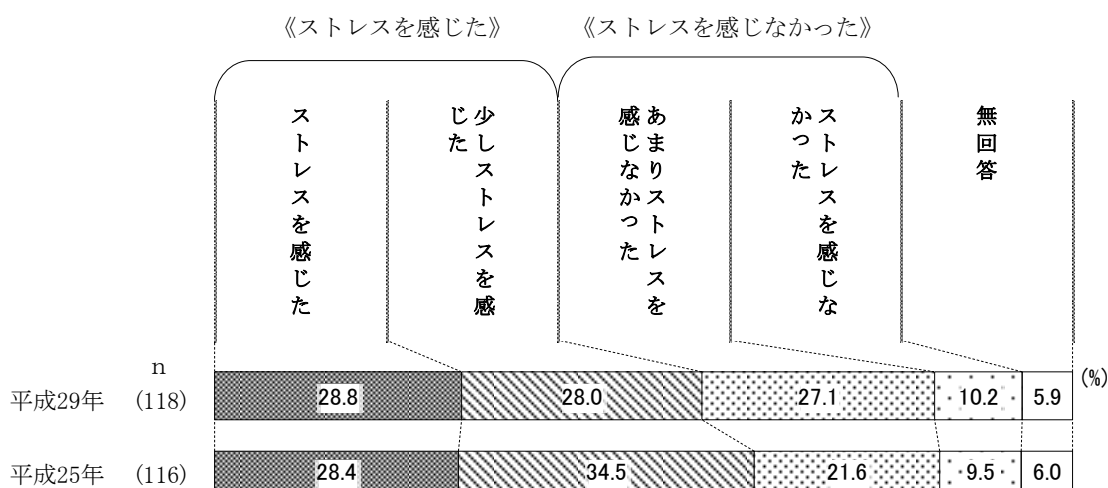
問18 あなたは最近1か月間に（不満、悩み、苦労などによる）ストレスを感じたことがありますか。（○は1つ）

ストレスの状況は、「ストレスを感じた」（28.8%）と「少しストレスを感じた」（28.0%）を合わせて、《ストレスを感じた》が5割台半ばである。

一方、「あまりストレスを感じなかった」（27.1%）と「ストレスを感じなかった」（10.2%）を合わせて、《ストレスを感じなかった》は約4割である。

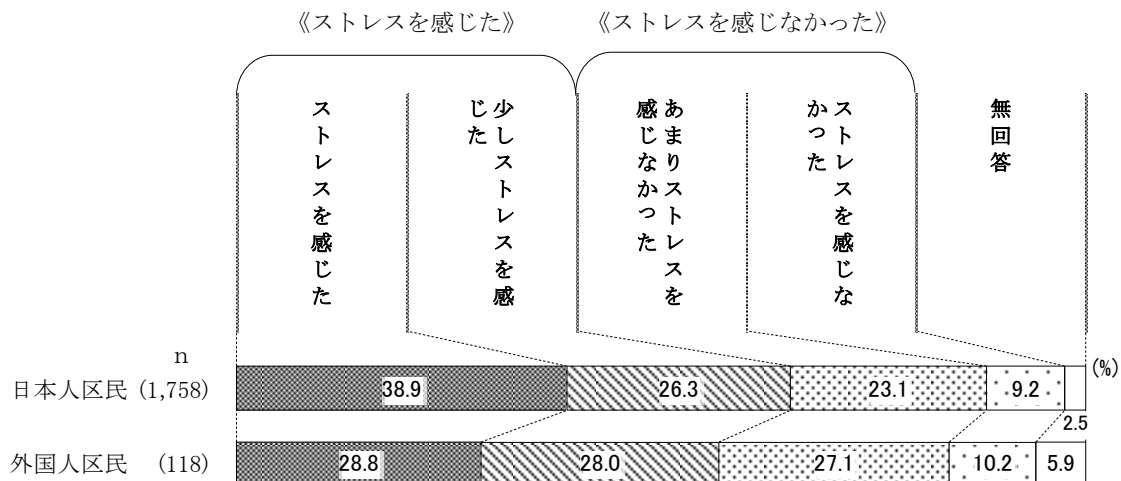
時系列で比較すると、《ストレスを感じた》（平成29年：56.8% 平成25年：62.9%）が6.1ポイント減少した。（図表6-1）

<図表6-1> ストレスの状況



日本人区民と比較すると、《ストレスを感じなかった》（日本人区民：32.3% 外国人区民：37.3%）は外国人区民の方が5.0ポイント高くなっている。（図表6－2）

<図表6－2>日本人区民との比較



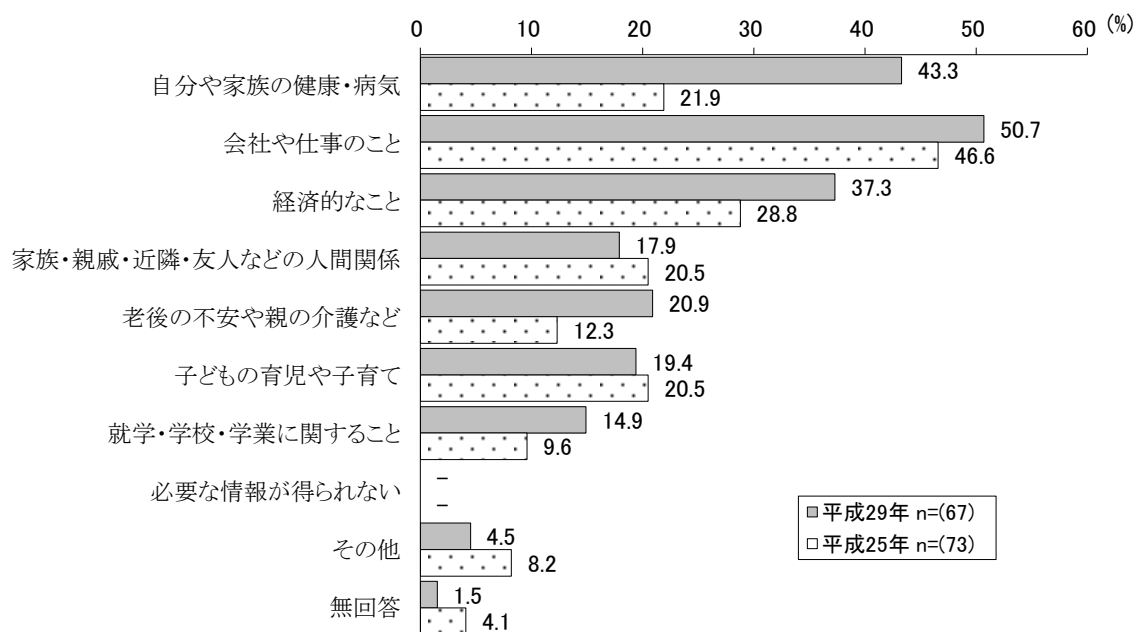
## (1-1) ストレスの内容

(問18で「1」または「2」と回答した方におたずねします。)  
 問18-1 どういうことにストレスを感じますか。(〇はいくつでも)

ストレスの状況で、《ストレスを感じた》と回答した方に、その内容をたずねた。その結果、「会社や仕事のこと」が50.7%と最も高く、次いで「自分や家族の健康・病気」が43.3%、「経済的なこと」が37.3%となっている。

時系列で比較すると、「自分や家族の健康・病気」(平成29年：43.3% 平成25年：21.9%)は約2倍の21.4ポイント増加した。また、「経済的なこと」(平成29年：37.3% 平成25年：28.8%)は8.5ポイント、「老後の不安や親の介護など」(平成29年：20.9% 平成25年：12.3%)は8.6ポイント、それぞれ増加した。(図表6-3)

<図表6-3> ストレスの内容 (複数回答)

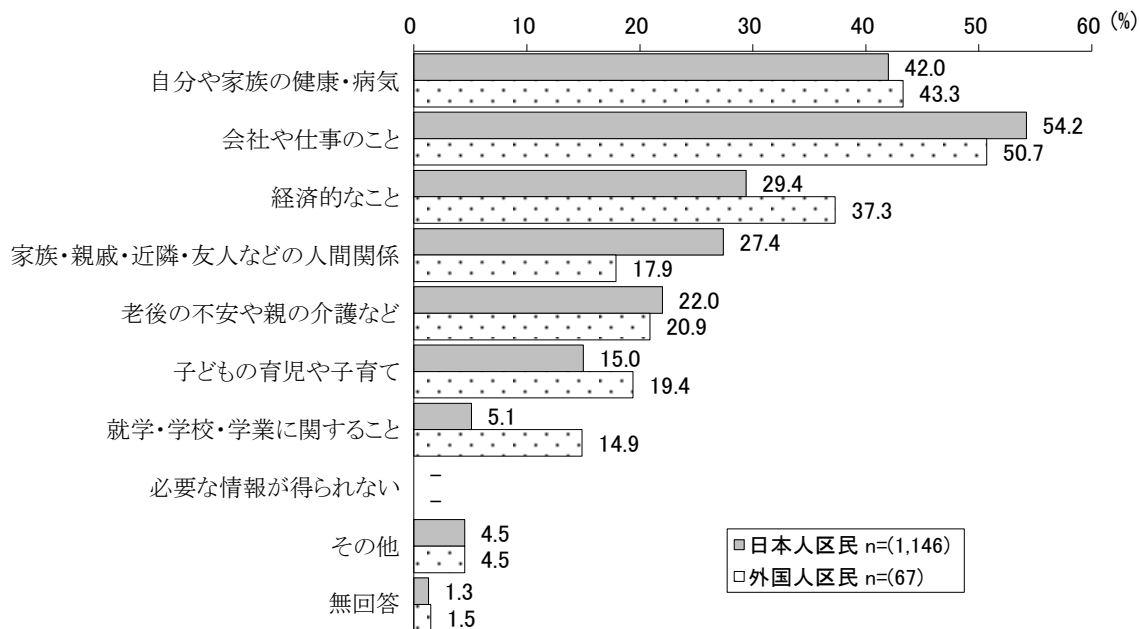


※今回調査の選択肢「会社や仕事のこと」は、前回調査では「会社や仕事のこと(就労・リストラ)」となっている。

※今回調査より、選択肢「必要な情報が得られない」が追加された。

日本人区民と比較すると、「経済的なこと」(日本人区民:29.4% 外国人区民:37.3%)は7.9ポイント、「就学・学校・学業に関すること」(日本人区民:5.1% 外国人区民:14.9%)は9.8ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。(図表6-4)

<図表6-4>日本人区民との比較



## (1-2) ストレスの解消方法

(問18で「1」または「2」と回答した方におたずねします。)

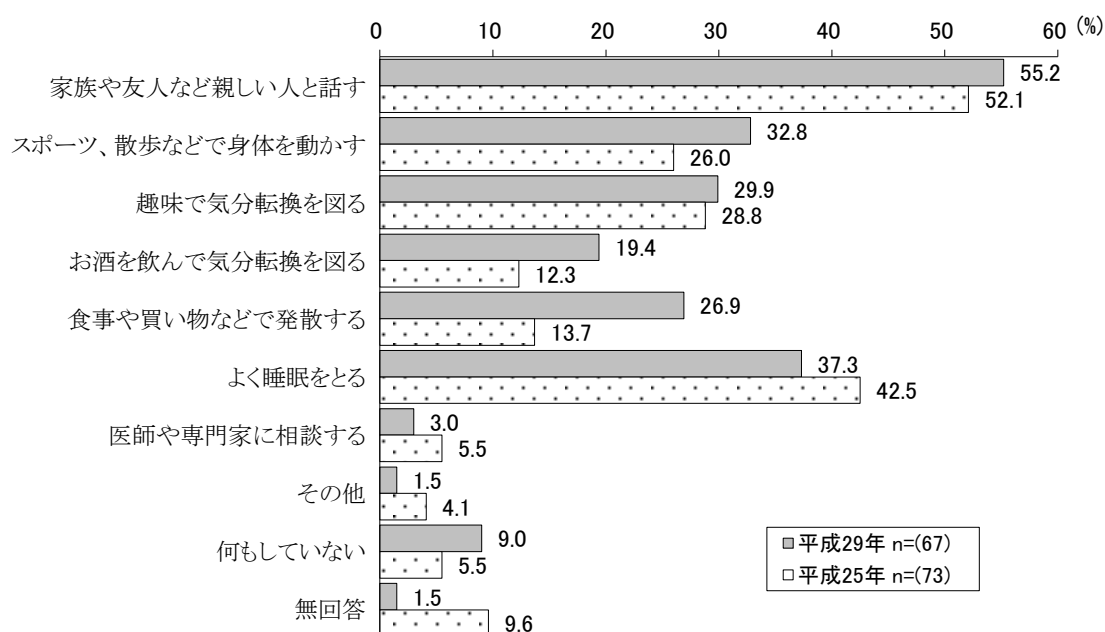
問18-2 ストレスを解消するために意識的に何かしていますか。(〇はいくつでも)

ストレスの状況で、「ストレスを感じた」と回答した方にストレスの解消方法をたずねた。その結果、「家族や友人など親しい人と話す」が55.2%と最も高く、次いで「よく睡眠をとる」が37.3%、「スポーツ、散歩などで身体を動かす」が32.8%となっている。

時系列で比較すると、「スポーツ、散歩などで身体を動かす」(平成29年：32.8% 平成25年：26.0%)は6.8ポイント、「お酒を飲んで気分転換を図る」(平成29年：19.4% 平成25年：12.3%)は7.1ポイント、「食事や買い物などで発散する」(平成29年：26.9% 平成25年：13.7%)は13.2ポイント、それぞれ増加している。

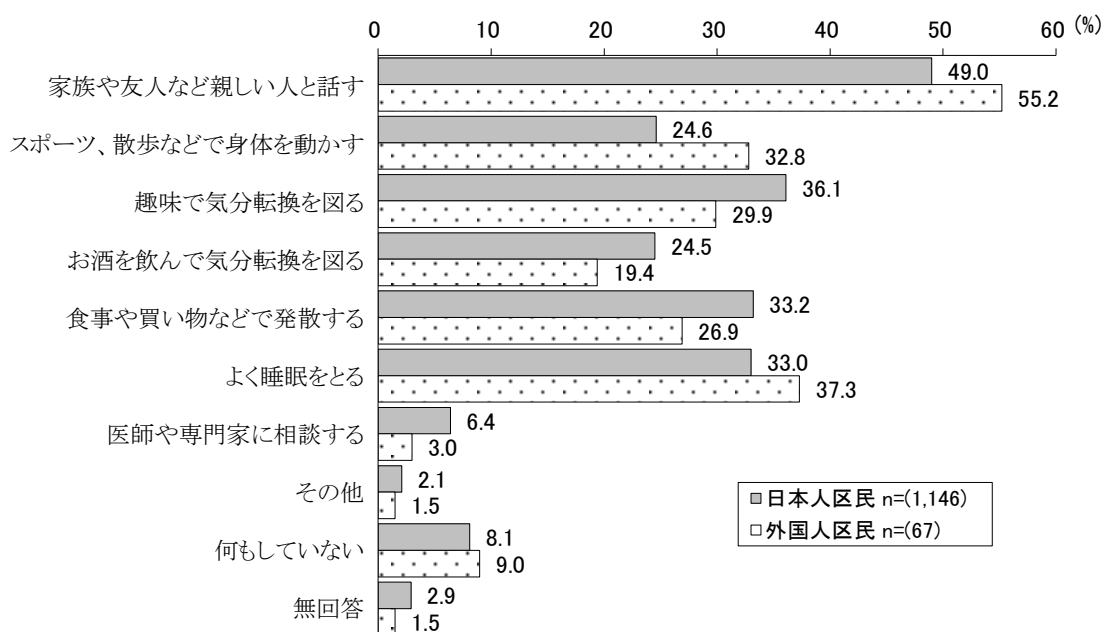
一方、「よく睡眠をとる」(平成29年：37.3% 平成25年：42.5%)は5.2ポイント減少している。(図表6-5)

<図表6-5> ストレスの解消方法 (複数回答)



日本人区民と比較すると、「家族や友人など親しい人と話す」（日本人区民：49.0% 外国人区民：55.2%）は6.2ポイント、「スポーツ、散歩などで身体を動かす」（日本人区民：24.6% 外国人区民：32.8%）は8.2ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。（図表6－6）

<図表6－6>日本人区民との比較



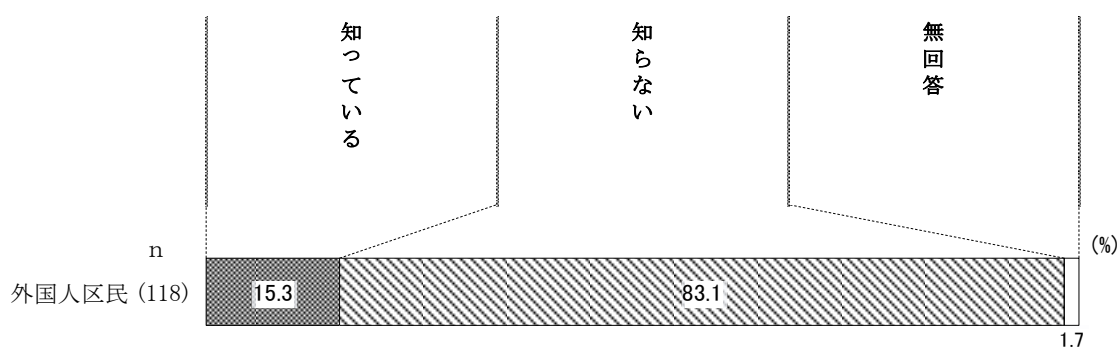
## 7 感染症について

### (1) 感染症検査の認知度

問19 あなたは、HIV、梅毒、クラミジア、B型肝炎の検査を、大田区保健所で無料で受けることができることを知っていますか。(○は1つ)

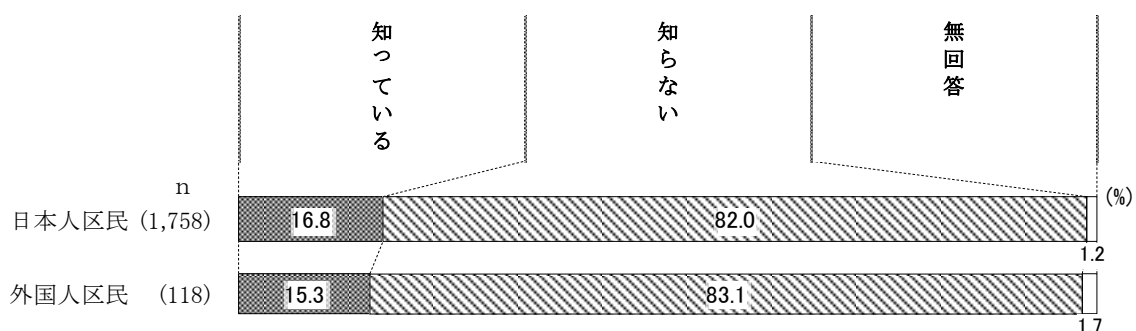
感染症検査の認知度は、「知っている」が15.3%、「知らない」が83.1%となっている。(図表7-1)

<図表7-1> 感染症検査の認知度



日本人区民と比較して、特に大きな違いはみられない。(図表7-2)

<図表7-2> 日本人区民との比較



※日本人区民の設問には、HIVが含まれていない。

## 8 アルコール・たばこについて

### (1) 1日あたりの飲酒量と適度な飲酒量

【全ての方におたずねします。】

問20 あなたは1日あたりどのくらいのお酒を飲みますか。

また、あなたが考える一般的な「節度のある適度な飲酒」とは1日にどれくらいだと思いますか。

ビールに換算して、それぞれにお答えください。(○はそれぞれ1つ)

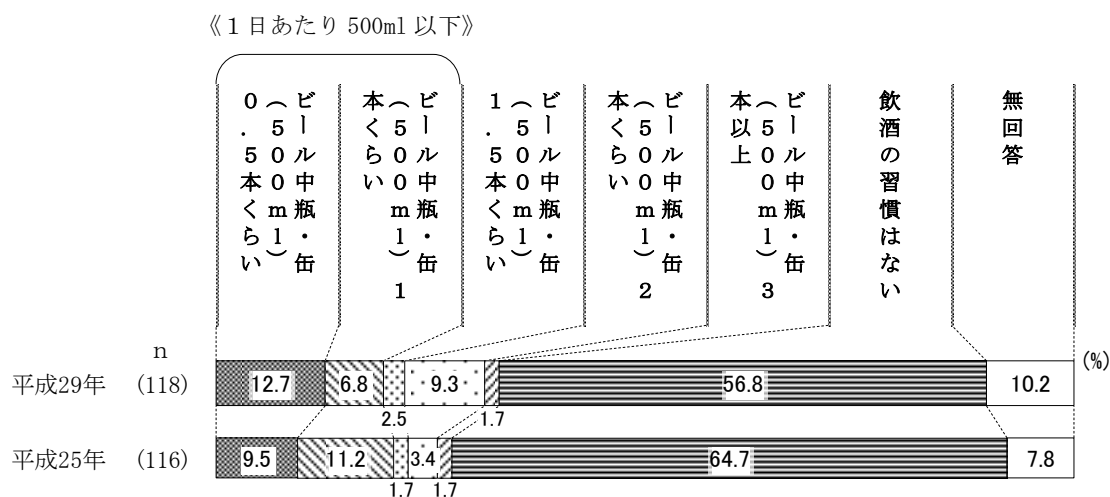
#### ■ 1日あたりの飲酒量

1日あたりの飲酒量は、「ビール中瓶・缶(500ml)0.5本くらい」(12.7%)と「ビール中瓶・缶(500ml)1本くらい」(6.8%)を合わせて、《1日あたり500ml以下》が約2割となっている。

一方、「飲酒の習慣はない」は56.8%と最も高い。

時系列で比較すると、「飲酒の習慣はない」(平成29年：56.8% 平成25年：64.7%)が7.9ポイント減少している。(図表8-1)

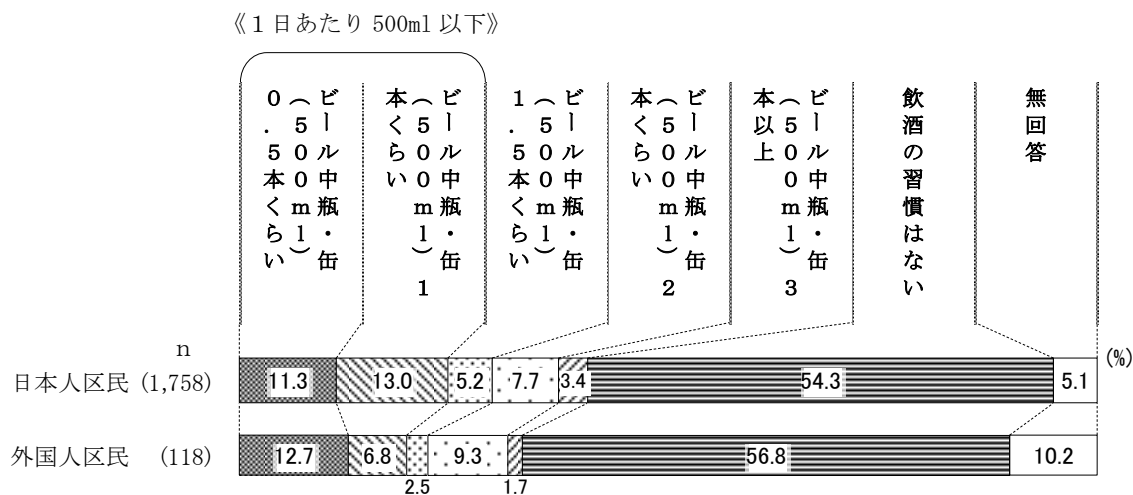
<図表8-1> 1日あたりの飲酒量





日本人区民と比較すると、「ビール中瓶・缶（500ml）0.5本くらい」（日本人区民：11.3% 外国人区民：12.7%）と「ビール中瓶・缶（500ml）1本くらい」（日本人区民：13.0% 外国人区民：6.8%）を合わせた、《1日あたり500ml以下》では、日本人区民24.3%、外国人区民19.5%となっている。これに「飲酒の習慣はない」（日本人区民：54.3% 外国人区民：56.8%）を加えた値は、日本人区民78.6%、外国人区民76.3%となり、特に大きな違いはみられない。（図表8－2）

<図表8－2>日本人区民との比較



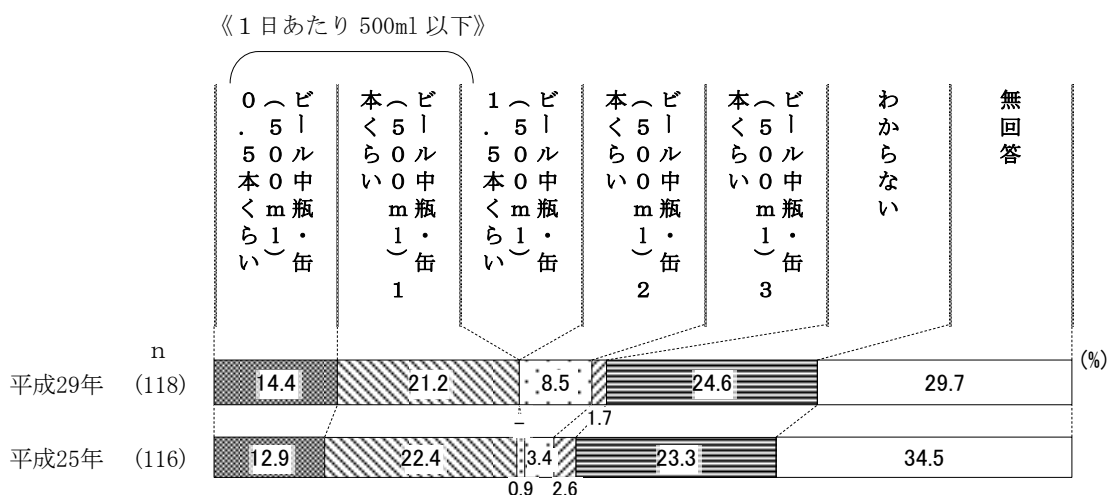
## ■適度な飲酒量の認知度

適度だと考える飲酒量は、「ビール中瓶・缶（500ml）1本くらい」が21.2%、「ビール中瓶・缶（500ml）0.5本くらい」が14.4%である。これらを合わせると、《1日あたり500ml以下》は3割台半ばとなっている。

一方、「わからない」は24.6%となっている。

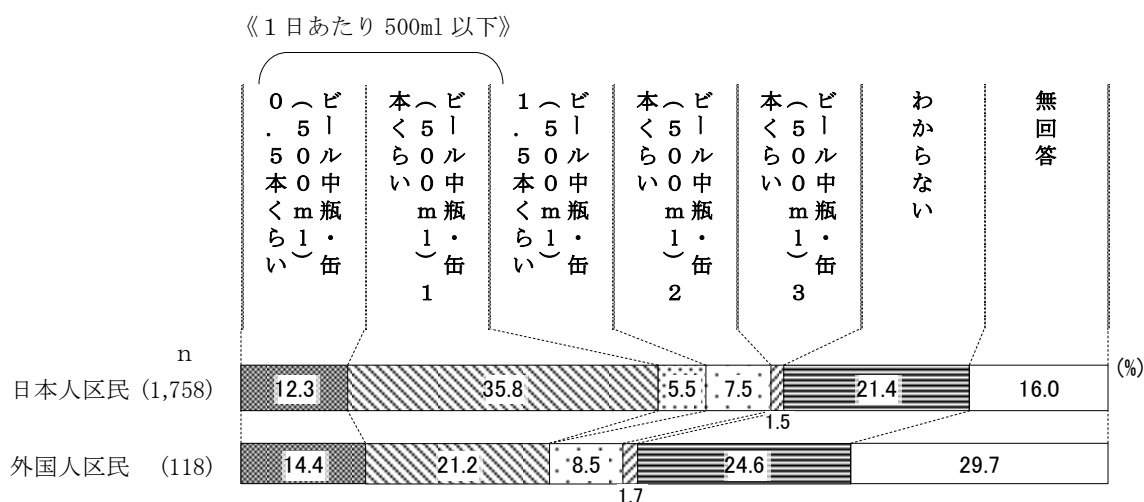
時系列で比較すると、「ビール中瓶・缶（500ml）2本くらい」（平成29年：8.5% 平成25年：3.4%）が5.1ポイント増加している。（図表8-3）

<図表8-3> 適度な飲酒量の認知度



日本人区民と比較すると、「ビール中瓶・缶（500ml）0.5本くらい」（日本人区民：12.3% 外国人区民：14.4%）と「ビール中瓶・缶（500ml）1本くらい」（日本人区民：35.8% 外国人区民：21.2%）を合わせた、《1日あたり500ml以下》では、日本人区民48.1%、外国人区民35.6%となり、外国人区民の方が12.5ポイント低くなっている。（図表8-4）

<図表8-4> 日本人区民との比較



### 適度な飲酒量

日本人の適度な飲酒量として、厚生労働省は1日あたり「ビール中瓶・缶（500ml）1本くらい」としています。（99 ページ、コラム参照）

諸外国におけるガイドラインでは、一般的に日本より数値がやや高い国が多くなっています。体格やアルコール分解酵素の違いなどを考慮したものと考えられます。

## (2) 喫煙状況

問21 あなたはたばこを吸っていますか。(○は1つ)

なお、「現在吸っている」と回答した方は、1日の平均本数と吸い始めた年齢を、「以前吸っていたがやめた」と回答した方は、そのきっかけをお答えください。

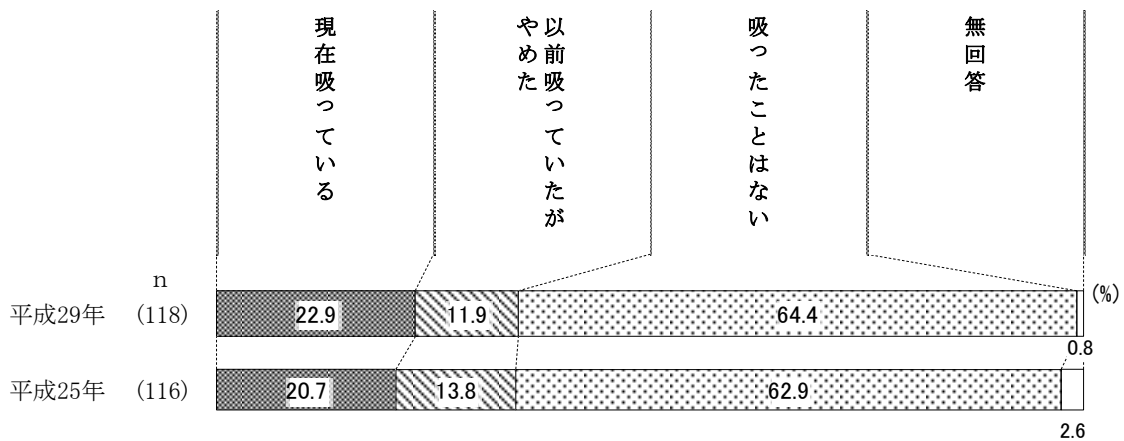
### ■喫煙状況

喫煙状況は、「現在吸っている」が22.9%で、「以前吸っていたがやめた」は11.9%となっている。

一方、「吸ったことはない」は64.4%と高くなっている。

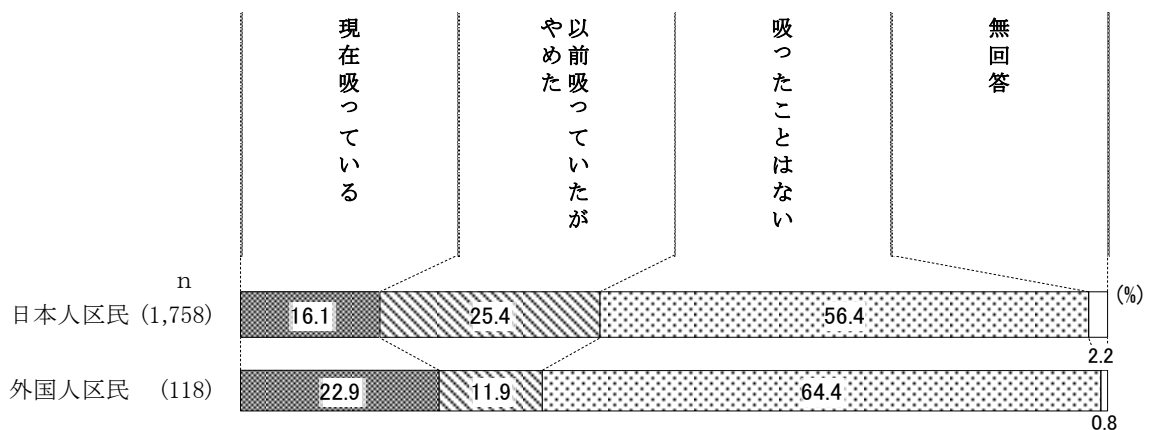
時系列でも、特に大きな違いはみられない。(図表8-5)

<図表8-5> 喫煙状況



日本人区民と比較すると、「現在吸っている」(日本人区民:16.1% 外国人区民:22.9%)は6.8ポイント、「吸ったことはない」(日本人区民:56.4% 外国人区民:64.4%)は8.0ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。一方、「以前吸っていたがやめた」(日本人区民:25.4% 外国人区民:11.9%)は日本人区民の方が13.5ポイント高くなっている。(図表8-6)

<図表8-6> 日本人区民との比較

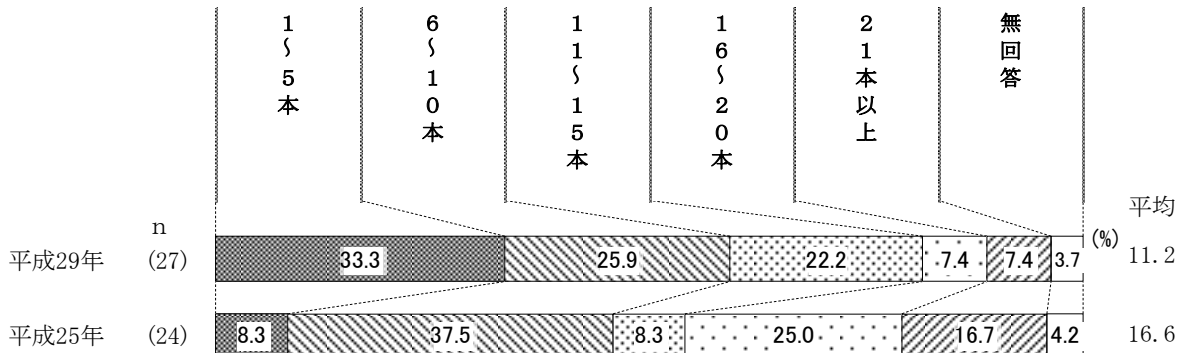


## ■ 1日あたりの平均喫煙本数（本）

喫煙状況で、「現在吸っている」と回答した方の1日あたりの平均喫煙本数は11.2本である。構成比では、「1～5本」が33.3%で最も高い。

前回調査はnが少ないため、参考として掲載する。（図表8－7）

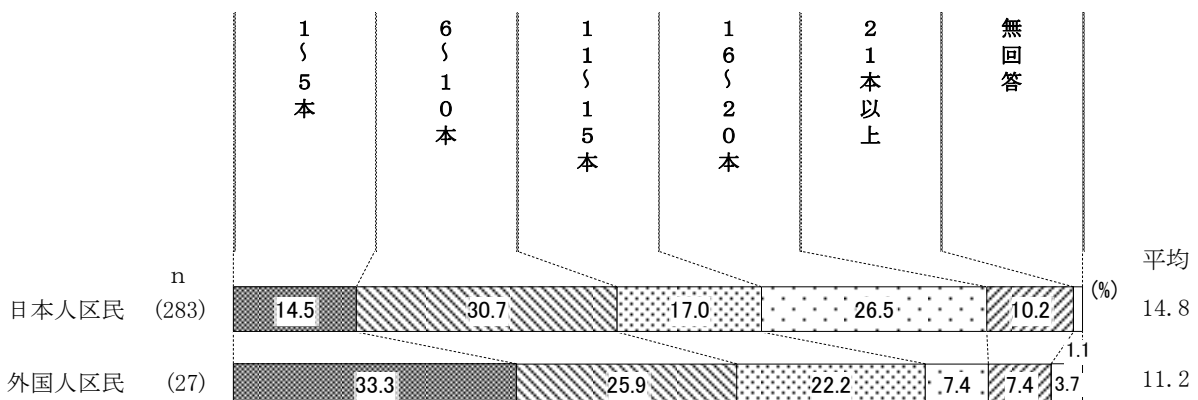
<図表8－7>喫煙本数



日本人区民と比較すると、「1～5本」（日本人区民：14.5% 外国人区民：33.3%）は18.8ポイント、「11～15本」（日本人区民：17.0% 外国人区民：22.2%）は5.2ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。

一方、「16～20本」（日本人区民：26.5% 外国人区民：7.4%）は日本人区民の方が19.1ポイント高くなっている。（図表8－8）

<図表8－8>日本人区民との比較

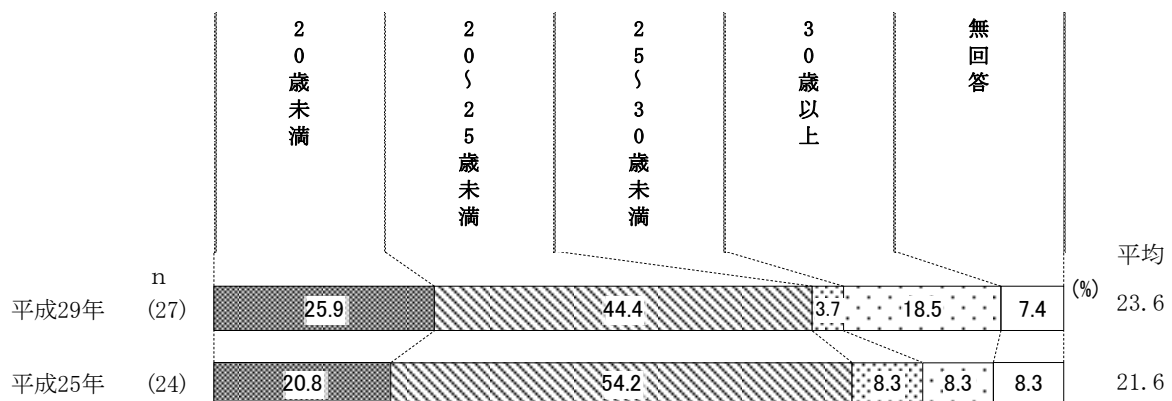


## ■喫煙開始年齢（歳）

喫煙状況で、「現在吸っている」と回答した方に喫煙開始年齢をたずねた。その結果、平均喫煙開始年齢は23.6歳である。構成比で見ると、「20～25歳未満」が44.4%で最も高く、「20歳未満」が25.9%となっている。

前回調査はnが少ないため、参考として掲載する。（図表8-9）

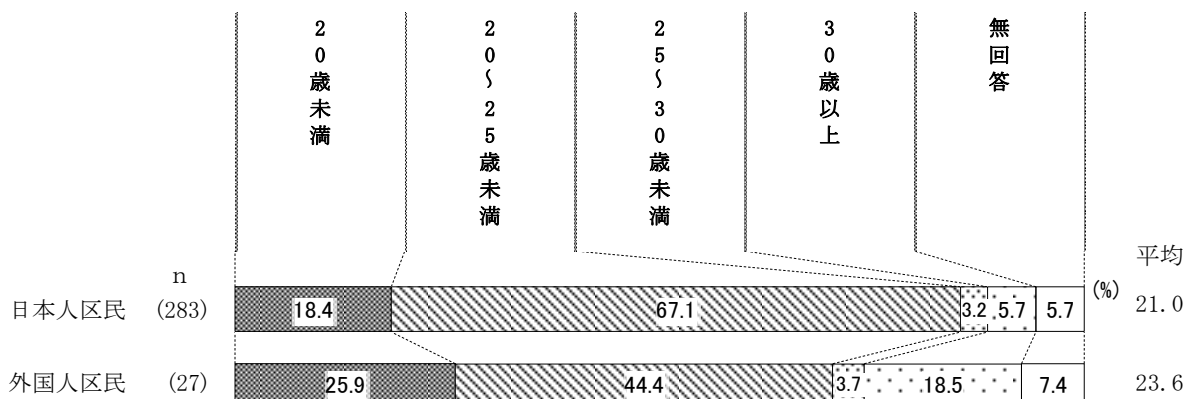
<図表8-9>喫煙開始年齢



日本人区民と比較すると、「20歳未満」（日本人区民：18.4% 外国人区民：25.9%）は7.5ポイント、「30歳以上」（日本人区民：5.7% 外国人区民：18.5%）は12.8ポイント、それぞれ外国人区民の方が高くなっている。

一方、「20～25歳」（日本人区民：67.1% 外国人区民：44.4%）は日本人区民の方が22.7ポイント高くなっている。（図表8-10）

<図表8-10>日本人区民との比較



## 9 地域医療について

### (1) かかりつけ医の有無

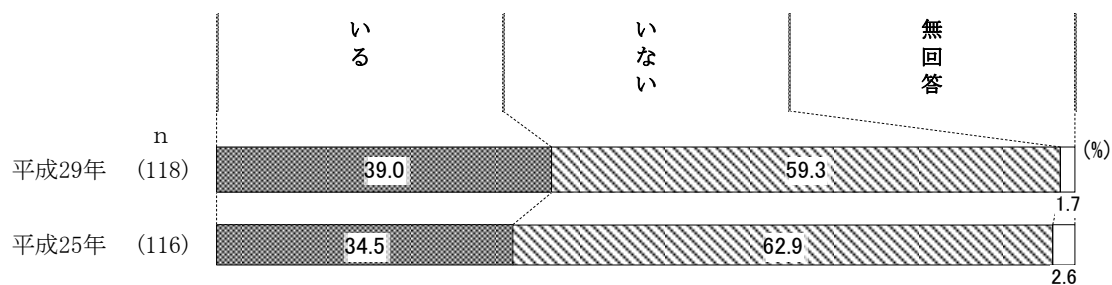
【全ての方におたずねします。】

問22 あなたには、「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)

かかりつけ医が「いる」は39.0%で、「いない」は59.3%となっている。

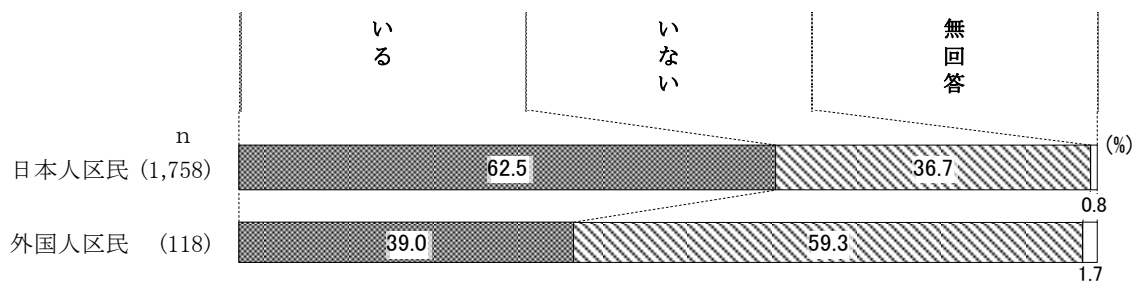
時系列でも、特に大きな違いはみられない。(図表9-1)

<図表9-1> 「かかりつけ医」の有無



日本人区民と比較すると、「いない」(日本人区民: 36.7% 外国人区民: 59.3%)は外国人区民の方が22.6ポイント高くなっている。(図表9-2)

<図表9-2> 日本人区民との比較



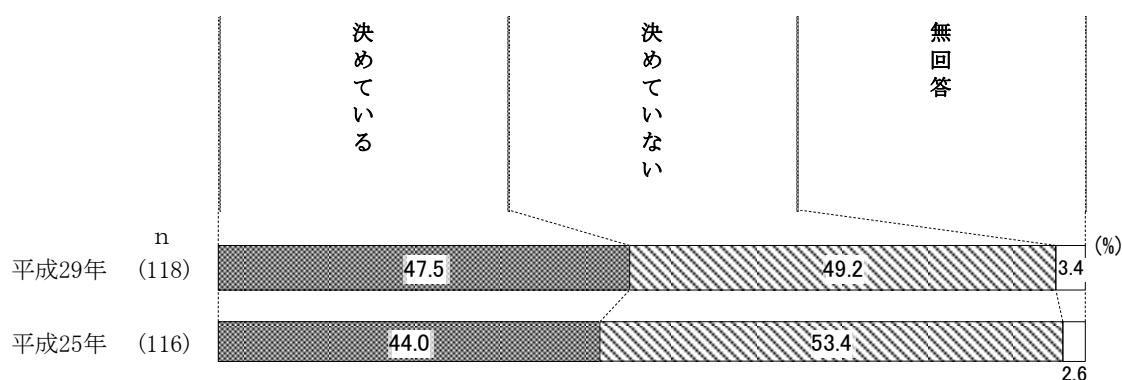
## (2) かかりつけ歯科医の有無

問23 「かかりつけの歯科医」を決めていますか。(○は1つ)

かかりつけ歯科医を「決めている」は47.5%、「決めていない」は49.2%となっている。

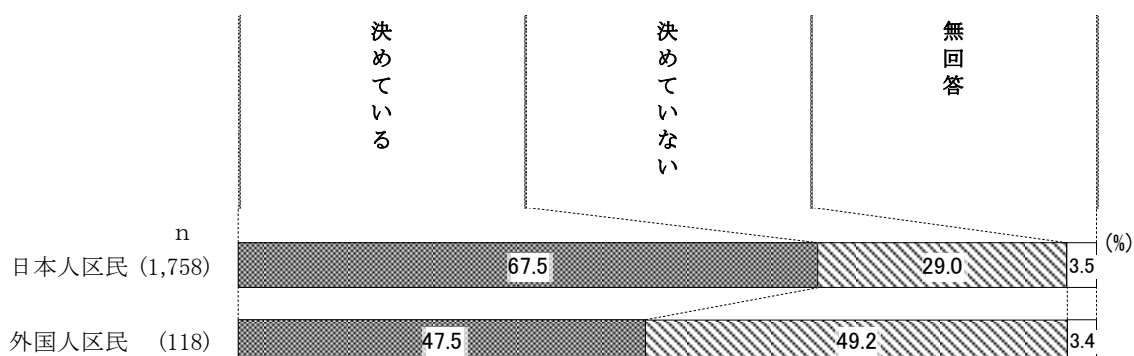
時系列でも、特に大きな違いはみられない。(図表9-3)

<図表9-3> 「かかりつけ歯科医」の有無



日本人区民と比較すると、「決めていない」(日本人区民:29.0% 外国人区民:49.2%)は外国人区民の方が20.2ポイント高くなっている。(図表9-4)

<図表9-4> 日本人区民との比較





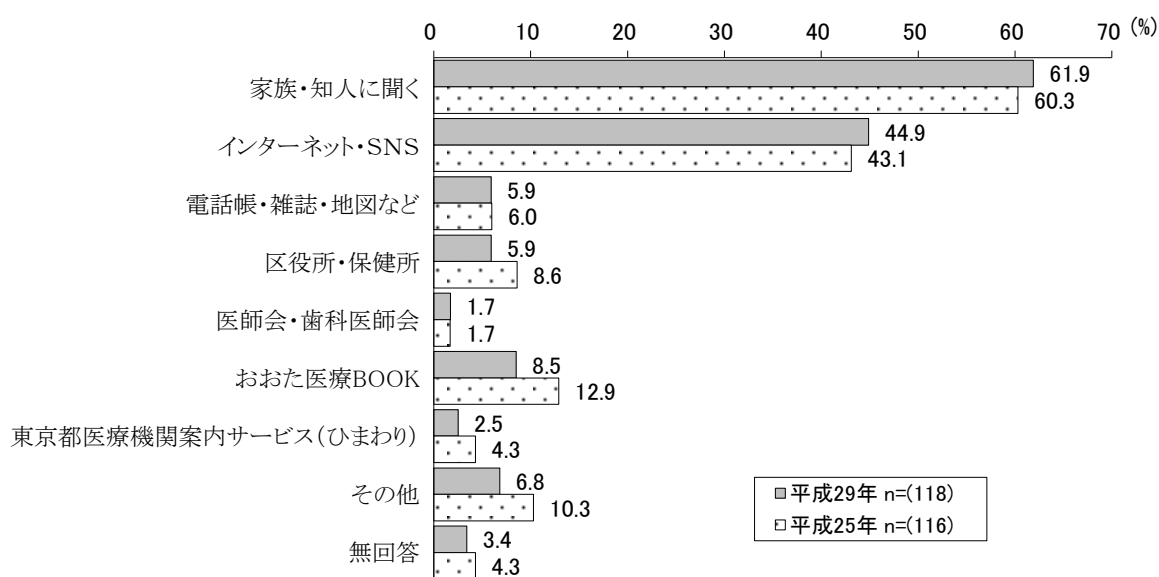
### (3) 医療機関を探す方法

問24 医療機関を探すとき、どのようにしていますか。(〇はいくつでも)

医療機関を探す方法は、「家族・知人に聞く」が61.9%と最も高く、次いで「インターネット・SNS」が44.9%となっている。

時系列でも、特に大きな違いはみられない。(図表9-5)

<図表9-5> 医療機関を探す方法 (複数回答)



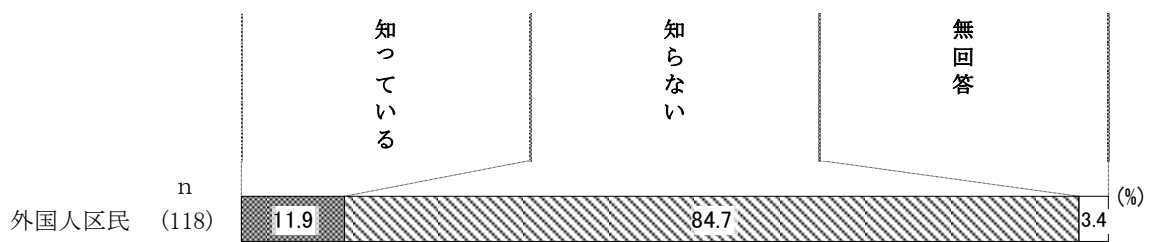
※今回調査の選択肢「インターネット・SNSから」は、前回調査では、「インターネット・携帯電話から」となっている。

#### (4) 緊急医療救護所の認知度

問25 災害時医療についておたずねします。「緊急医療救護所」は、地震など大規模災害時に病院の門前などで負傷者の治療の優先順位をつけたり、軽症者の治療を行うために設置されます。あなたは緊急医療救護所を知っていますか。(〇は1つ)

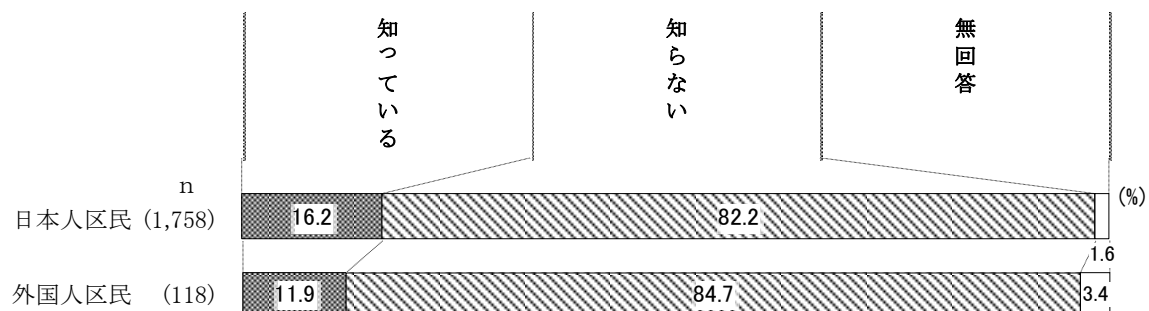
緊急医療救護所については、「知っている」が11.9%、「知らない」が84.7%となっている。(図表9-6)

<図表9-6> 緊急医療救護所の認知度



日本人区民と比較して、特に大きな違いはみられない。(図表9-7)

<図表9-7> 日本人区民との比較



## 10 自由意見

その他、健康に関することで区に対するご意見がございましたら、ご記入ください。  
(例えば健康診断や健康に関する情報提供など)

ご意見を自由に記入していただいたところ、延べ32件の貴重な回答が寄せられた。ここでは、意見や要望を分類し、その内容別で記載しておく。一人の回答が複数の内容にわたる場合には、複数回答として、原文の内容の趣旨を損なわないよう回答を分け、それぞれの内容へ数えている。

計：32件

◆区の健診・検診	13
○区の健診・検診はありがたいので、今後も継続してほしい	7
○健診・検診を充実（項目増設や日程、結果送付等）させてほしい	2
○健診・検診の受診条件（年齢、人数）緩和をして多くの人が受けられるようにしてほしい	2
○健診・検診案内の情報を提供してほしい	2
◆予防接種	0
◆環境・まちづくり	0
◆医療・保健	2
○保険料が高い、医療費、薬代が心配	1
○病気や治療に関する情報を提供してほしい	1
◆健康・福祉施策	1
○参加しやすいイベントや講座、サークル等があるといい	1
◆情報・相談	11
○各種媒体を利用した積極的な情報提供（健康・保健）をしてほしい	4
○相談窓口、電話相談を充実させてほしい	2
○翻訳対応してほしい	2
○情報提供に感謝している、引き続き行ってほしい	2
○ウェブサイト、モバイルサイト等（SNS・LINE含む）での情報提供を充実させてほしい	1
◆運動・健康施設	2
○運動施設や身体を動かせる場所・情報を提供してほしい	1
○教室・健康指導を充実させてほしい	1
◆食品と食生活	0
◆健康意識	0
◆アンケート	0
◆その他(行政施策等)	1
◆その他(体調・経緯等)	2